

『新学習指導要領』より

目 次

学習指導要領とは P.3

教育課程（学校教育課程） 教育内容の組織 P.4

- 概要
- 教科・科目と教科外活動など
- 日本の学校の教育課程

カリキュラム P.4

評価の姿勢を含んだ類型（入出力モデル）

1 幼児教育のねらい P.5

- ・ 初期指導（低学年児童）向け

2 小学校国語・中学校国語 P.9

目標（身に付けること）

指導内容

- ・ A 話すこと・聞くこと
- ・ B 書くこと
- ・ C 読むこと

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

ひらがな・漢字など

小学校 学年別漢字配当表（1006 字）

中学校 常用漢字表（939 字）

3 小学校算数・中学校数学 P.22

目標（身に付けること）

指導内容

- ・ A 数と計算（小学校）、数と式（中学校）
- ・ B 量と測定（小学校）
- ・ C 図形（小学校）
- ・ B 図形（中学校）
- ・ D 数量関係（小学校）
- ・ C 関数（中学校）
- ・ D 資料の活用（中学校）

算数的活動，数学的活動
用語・記号

- 4 小学校理科・中学校理科 P.42
目標（身に付けること）
指導内容（小学校）
 - ・ A 物質・エネルギー（小学校）
 - ・ B 生命・地球（小学校）指導内容（中学校）
 - ・ 第1分野（中学校）
 - ・ 第2分野（中学校）
- 5 小学校社会・中学校社会 P.60
目標（身に付けること）
指導内容（小学校）
指導内容（中学校）
 - ・ 地理的分野
 - ・ 歴史的分野
 - ・ 公民的分野
- 6 小学校 生活科 P.72
目標（身に付けること）
指導内容（小学校）
- 7 小学校 体育 p.74
目標（身に付けること）
指導内容（小学校）
- 8 小学校 図画工作 P.81
目標（身に付けること）
指導内容（小学校）
- 9 小学校 音楽 P.84
目標（身に付けること）
指導内容（小学校）
- 10 小学校 家庭科 P.89
目標（身に付けること）
指導内容（小学校）
- 11 小学校 外国語活動 P.91
目標（身に付けること）
指導内容（小学校）

小学校 移行措置 P.93

中学校 移行措置 p.108

指導内容・指導カリキュラムの作成に向けて

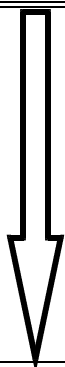
- 指導内容をつかむ(学習指導要領より)



- 指導内容の精選(日本語指導に合わせて)



- 各教科の指導項目一覧表の作成



指導項目に合わせた
カリキュラムの作成



- 各教科具体的指導内容
(教科指導)
- 日本語指導法の研究
(日本語指導)

- 日本語力・教科力
テストの改定

担当者の役割分担

- | | |
|--------------------|--------------|
| ○ 日本語指導 - () () | |
| ○ 国 語 - - () () | |
| ○ 算数数学 - - () () | |
| ○ 幼児教育 - - () | ○ 理 科 - () |
| ○ 社 会 - - () | ○ 体 育 - () |
| ○ 音 楽 - - () | ○ 図画工作 - () |

学習指導要領とは

各授業科目にかかる授業時間数（後期中等教育の場合，初等教育・前期中等教育においては学校教育法施行規則に授業時間数は定められている。），指導する内容，特別活動の内容など細かく定められている。

教育課程（学校教育課程） 教育内容の組織

○ 概要

教育課程は，教育内容の広範かつ一般的な計画という側面も持ち，カリキュラムの同義語と捉えられることもあるが，カリキュラムよりも包括的な概念として用いられることもある。一般的に教育課程に定められた条件を満たすことによって，修了や卒業などが認定されることが多い。

教育課程は，一般的に学校教育をはじめ，幼児，児童，生徒，学生などの学習者によって学ばれることの体系である。

○ 教科・科目と教科外活動など

教育課程は，教科・科目の目標や内容などを定めた教科課程・学科課程などと，教科・科目以外のさまざまな活動からなる教科外活動（特別活動）などの2つの部門から成り立っている。

教育課程については，どのような教科・科目をどれほどの時間数をかけて学習するのかということを中心に考えられていることも多い。しかし，教科・科目のみによって教育を発展させることが困難なこともあり，教科外活動などの重要な意義は認められ，一定の活動については，教育課程の一部として正式に規定されている。現代社会では，教科・科目とそれ以外の諸活動を連携させて教育課程を編成することも注目され，この2つの部門の組み合わせは，今日の教育において大切な要素になっている。

現在の学校教育においては，教科外活動として，学級活動・ホームルーム活動，児童会活動・生徒会活動（どちらも委員会活動を含む），学校行事（運動会，学習発表会，修学旅行など），クラブ活動などからなる特別活動と，道徳の時間や総合的な学習の時間などが，全員が行う活動として学習指導要領に規定されている。また，その他の教科外活動としては，各学校における状況に合わせて，校内清掃や地域社会との交流などが行われている。また，学習者が自発的に参加する課外活動なども行われていることが多い。

（なお，2002年度から実施されている学習指導要領では，小学校などの初等教育のみでクラブ活動が規定されている。）

○ 日本の学校の教育課程

日本の幼稚園，小学校，中学校，高等学校，中等教育学校，特別支援学校における教育課程は，文部科学大臣が「教育課程の基準」として公示する教育要領・学習指導要領に基づいて定められる。各学校の教育課程を定める際には，学校の設置者が文部科学省その他の官公署（都道府県教育委員会[1]，「市町村」「特別区」「地方公共団体の組合」の教育委員会[2]，知事部局[3]）が作成した「解説」や「手引」を参考にして大綱を定めて，各学校がさらに年間計画などの詳細を定める。

教育要領・学習指導要領は，「幼稚園教育要領」「小学校学習指導要領」「中学校学習指導要領」「特別支援学校幼稚部教育要領」「特別支援学校小学部・中学部学習指導要領」「特別支援学校高等部学習指導要領」があり，約 10 年ごとに全部改正が行われている。

カリキュラム

カリキュラム（Curriculum）とはしばしば教育課程と同義に扱われることもあるが，元々はラテン語の「走る」（currere）から由来した言葉で「走るコース，走路，ランニングコース」のことをいい，第二次世界大戦後，アメリカから入ってきた概念である。一定の教育の目的に合わせて，考え出された教育内容とその決まった修業年限の間での教育と学習を総合的に計画したものをいう。一般に学生，生徒には小学校から大学に至るまでの各学年での時間割として知られるものもカリキュラムの一部である。これは狭義のもので，教育課程とほぼ同じである。

カリキュラムは単に教育課程に狭められるものではなく，より広い意味で教育の目的，教育内容を超えて，教授活動やそれに対する教師の構えのようなものまで拡大して，教育にアプローチする姿勢そのものまでもカリキュラムとして捉えなおすということが 20 世紀の半ばあたりから盛んに語られている。そこから提案されてきたカリキュラムのコンセプトは，しばしば文部科学省が学習指導要領を改訂する際にも反映される。カリキュラムはどういう視点からそれを考えるかにより，さまざまな分類がある。実際には小学校から大学まで，それぞれの教育機関の目標と教育的援助への多様な視点からなるカリキュラムを組合わせて，それぞれの長短を補い合うようにして活用している。

評価の姿勢を含んだ類型（入出力モデル）

具体的に観察できる教育目標を設定しておいて，それに対応する教材，教具を開発，それを【教授＝学習】の過程で活用し，その結果を評価する。
IN PUT したものが OUT PUT で出てくるはず，それを目標とし達成を図れるようにしようとするもの。

幼児教育のねらい

育つことが期待される生きる力の基礎となる心情、意欲、態度

- 幼児の発達の側面から、
 - ・ 心身の健康に関する領域「健康」
 - ・ 人とのかかわりに関する領域「人間関係」
 - ・ 身近な環境とのかかわりに関する領域「環境」
 - ・ 言葉の獲得に関する領域「言葉」及び感性と表現に関する領域「表現」

生活の全体を通じ、幼児が様々な体験を積み重ねる中で相互に関連をもちながら次第に達成に向かうものである。

健 康

健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。

- ねらい
 - ・ 明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。
 - ・ 自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。
 - ・ 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。
- 内 容
 - ・ 先生や友達と触れ合い、安定感をもって行動する。
 - ・ いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。
 - ・ 進んで戸外で遊ぶ。
 - ・ 様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。
 - ・ 先生や友達と食べることを楽しむ。
 - ・ 健康な生活のリズムを身に付ける。
 - ・ 身の回りを清潔にし、衣服の着脱、食事、排泄などの生活に必要な活動を自分でする。
 - ・ 幼稚園における生活の仕方を知り、自分たちで生活の場を整えながら見通しをもって行動する。
 - ・ 自分の健康に関心をもち、病気の予防などに必要な活動を進んで行う。
 - ・ 危険な場所、危険な遊び方、災害時などの行動の仕方が分かり、安全に気を付けて行動する。

人間関係

他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人とかわる力を養う。

- ねらい
 - ・ 幼稚園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。
 - ・ 身近な人と親しみ、かかわりを深め、愛情や信頼感をもつ。
 - ・ 社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。

○ 内 容

- ・ 先生や友達と共に過ごすことの喜びを味わう。
- ・ 自分で考え、自分で行動する。
- ・ 自分でできることは自分でする。
- ・ 遊びを楽しみながら物事をやり遂げようとする気持ちをもつ。
- ・ 友達と積極的にかかわりながら喜びや悲しみを共感し合う。
- ・ 自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く。
- ・ 友達のよさに気付き、一緒に活動する楽しさを味わう。
- ・ 友達と楽しく活動する中で、共通の目的を見だし、工夫したり、協力したりなどする。
- ・ よいことや悪いことがあることに気付き、考えながら行動する。
- ・ 友達とのかかわりを深め、思いやりをもつ。
- ・ 友達と楽しく生活する中できまりの大切さに気付き、守ろうとする。
- ・ 共同の遊具や用具を大切にし、みんなで使う。
- ・ 高齢者をはじめ地域の人々などの自分の生活に関係の深いいろいろな人に親しみをもつ。

集団の生活を通して、幼児が人とのかかわりを深め、規範意識の芽生えが培われることを考慮し、幼児が教師との信頼関係に支えられて自己を発揮する中で、互いに思いを主張し、折り合いを付ける体験をし、きまりの必要性などに気付き、自分の気持ちを調整する力が育つようにする。

環 境

周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもってかかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。

○ ねらい

- ・ 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもつ。
- ・ 身近な環境に自分からかかわり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。
- ・ 身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。

○ 内 容

- ・ 自然に触れて生活し、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く。
- ・ 生活の中で、様々な物に触れ、その性質や仕組みに興味や関心をもつ。
- ・ 季節により自然や人間の生活に変化のあることに気付く。
- ・ 自然などの身近な事象に関心をもち、取り入れて遊ぶ。
- ・ 身近な動植物に親しみをもって接し、生命の尊厳に気付き、いたわったり、大切にしたりする。
- ・ 身近な物を大切にする。
- ・ 身近な物や遊具に興味をもってかかわり、考えたり、試したりして工夫して遊ぶ。
- ・ 日常生活の中で数量や図形などに関心をもつ。

- ・ 日常生活の中で簡単な標識や文字などに関心をもつ。
- ・ 生活に関係の深い情報や施設などに興味や関心をもつ。

幼児期において自然のもつ意味は大きく、自然の大きさ、美しさ、不思議さなどに直接触れる体験を通して、幼児の心が安らぎ、豊かな感情、好奇心、思考力、表現力の基礎が培われることを踏まえ、幼児が自然とのかかわりを深めることができるよう工夫する。

数量や文字などに関しては、日常生活の中で幼児自身の必要感に基づく体験を大切に、数量や文字などに関する興味や関心、感覚が養われるようにする。

言 葉

経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。

- ねらい
 - ・ 自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。
 - ・ 人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。
 - ・ 日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、先生や友達と心を通わせる。
- 内 容
 - ・ 先生や友達の言葉や話に興味や関心をもち、親しみをもって聞いたり、話したりする。
 - ・ したり、見たり、聞いたり、感じたり、考えたりなどしたことを自分なりに言葉で表現する。
 - ・ したいこと、してほしいことを言葉で表現したり、分からないことを尋ねたりする。
 - ・ 人の話を注意して聞き、相手に分かるように話す。
 - ・ 生活の中で必要な言葉が分かり、使う。
 - ・ 親しみをもって日常のあいさつをする。
 - ・ 生活の中で言葉の楽しさや美しさに気付く。
 - ・ いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする。
 - ・ 絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像をする楽しさを味わう。
 - ・ 日常生活の中で、文字などで伝える楽しさを味わう。

言葉は、身近な人に親しみをもって接し、自分の感情や意志などを伝え、それに相手が応答し、その言葉を聞くことを通して次第に獲得されていくものであることを考慮して、幼児が教師や他の幼児とかわることにより心を動かすような体験をし、言葉を交わす喜びを味わえるようにする。

幼児が自分の思いを言葉で伝えるとき、教師や他の幼児などの話を興味をもって注意して聞くことを通して次第に話を理解するようになって

いき、言葉による伝え合いができるようにする。

絵本や物語などで、その内容と自分の経験とを結び付けたり、想像を巡らせたりするなど、楽しみを十分に味わうことによって、次第に豊かなイメージをもち、言葉に対する感覚が養われるようにする。

幼児が日常生活の中で、文字などを使いながら思ったことや考えたことを伝える喜びや楽しさを味わい、文字に対する興味や関心をもつようにする。

表 現

感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。

○ ねらい

- ・ いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。
- ・ 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。
- ・ 生活の中でイメージを豊かにし、様力な表現を楽しむ。

○ 内 容

- ・ 生活の中で様々な音、色、形、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむ。
- ・ 生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにする。
- ・ 様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う楽しさを味わう。
- ・ 感じたこと、考えたことなどを音や動きなどで表現したり、自由にかいたり、つくったりなどする。
- ・ いろいろな素材に親しみ、工夫して遊ぶ。
- ・ 音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりなどする楽しさを味わう。
- ・ かいたり、つくったりすることを楽しみ、遊びに使ったり、飾ったりなどする。
- ・ 自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりするなどの楽しさを味わう。

留意事項

安全に関する指導に当たっては、情緒の安定を図り、遊びを通して状況に応じて機敏に自分の体を動かすことができるようにするとともに、危険な場所や事物などが分かり、安全についての理解を深めるようにする。交通安全の習慣を身に付けるようにするとともに、災害などの緊急時に適切な行動がとれるようにするための訓練なども行うようにする。

幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続のため、幼児と児童の交流の機会を設けたり、小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会を設けたりするなど、連携を図るようにする。

小学校 国語 ・ 中学校 国語

目 標（身に付けること）

〔小学校 1年生及び小学校 2年生〕

- 事柄の順序を考えながら話す能力
- 大事なことを落とさないように聞く能力
- 話題に沿って話し合う能力
- 順序を整理し，簡単な構成を考えて文や文章を書く能力
- 事柄の順序や場面の様子などに気付いたり，想像を広げたりしながら読む能力
- 楽しんで読書しようとする態度

〔小学校 3年生及び小学校 4年生〕

- 筋道を立てて話す能力
- 話の中心に気を付けて聞く能力
- 進行に沿って話し合う能力
- 段落相互の関係などに注意して文章を書く能力
- 内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力

〔小学校 5年生及び小学校 6年生〕

- 考えたことや伝えたいことなどについて，的確に話す能力
- 相手の意図をつかみながら聞く能力
- 計画的に話し合う能力
- 考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章に書く能力
- 内容や要旨をとらえながら読む能力

〔中学校 1年生〕

- 目的や場面に応じ，構成を工夫して話す能力
- 話し手の意図を考えながら聞く能力
- 話題や方向をとらえて話し合う能力
- 話したり聞いたりして考えをまとめようとする態度
- 目的や意図に応じ，構成を考えて的確に書く能力
- 進んで文章を書いて考えをまとめようとする態度
- 目的や意図に応じ，内容や要旨を的確にとらえる能力
- 読書を通してものの見方や考え方を広げようとする態度

〔中学校 2年生〕

- 目的や場面に応じ，立場や考えの違いを踏まえて話す能力
- 考えを比べながら聞く能力

- 相手の立場を尊重して話し合う能力
- 話したり聞いたりして考えを広げようとする態度
- 目的や意図に応じ、構成を工夫して分かりやすく書く能力
- 文章を書いて考えを広げようとする態度
- 目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読む能力
- 広い範囲から情報を集め効果的に活用する能力
- 読書を生活に役立てようとする態度

〔中学校 3年生〕

- 目的や場面に応じ、相手や場に応じて話す能力
- 表現の工夫を評価して聞く能力
- 課題の解決に向けて話し合う能力
- 話したり聞いたりして考えを深めようとする態度
- 目的や意図に応じ、論理の展開を工夫して書く能力
- 文章を書いて考えを深めようとする態度
- 目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方を評価しながら読む能力
- 読書を通して自己を向上させようとする態度

指導内容

A 話すこと・聞くこと

〔小学校 1年生及び小学校 2年生〕

- 身近なことや経験したことなどから話題を決め、必要な事柄を思い出す。
- 話す事柄を順序立て丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話す
- 姿勢や口形、声の大きさや速さなどに注意してはっきりした発音で話す。
- 大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞く。
- 互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合う。
- 場面に合わせてあいさつをしたり、連絡をし合ったりする。
- 知らせたいことなどについて身近な人に紹介したり、聞いたりする。

〔小学校 3年生及び小学校 4年生〕

- 関心のあることなどから話題を決め、必要な事柄について調べ、要点をメモする。
- 相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話す。
- 相手を見たり、言葉の抑揚や強弱、間の取り方に注意したりして話す。
- 話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり感想を述べたりする。
- 互いの考えの共通点や相違点を考え、進行に沿って話し合う。
- 出来事の説明や調査の報告をしたり、聞いて意見を述べたりする。
- 話し合って考えをまとめたり、意見を述べ合ったりする。
- 図表や絵、写真などから読み取ったことを基に話したり、聞いたりする。

〔小学校 ５年生及び小学校 ６年生〕

- 考えたことや伝えたいことなどから話題を決め，収集した知識や情報を関係付ける。
- 目的や意図に応じて，事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら，場に応じた適切な言葉遣いで話す。
- 共通語と方言との違いを理解し，また，必要に応じて共通語で話す。
- 話し手の意図をとらえながら聞き，自分の意見と比べるなどして考えをまとめる。
- 互いの立場や意図をはっきりさせながら，計画的に話し合う。
- 資料を提示しながら説明や報告をしたり，それらを聞いて助言や提案をしたりする。
- 調べたことやまとめたことについて，討論などをする。
- 事物や人物を推薦したり，それを聞いたりする。

〔中学校 １年生〕

- 日常生活の中から話題を決め，話したり話し合ったりするための材料を人との交流を通して集め整理する。
- 全体と部分，事実と意見との関係に注意して話を構成し，相手の反応を踏まえながら話す。
- 話す速度や音量，言葉の調子や間の取り方，相手に分かりやすい語句の選択，相手や場に応じた言葉遣いなどについての知識を生かして話す。
- 必要に応じて質問しながら聞き取り，自分の考えとの共通点や相違点を整理する。
- 話合いの話題や方向をとらえて的確に話したり，相手の発言を注意して聞いたりして，自分の考えをまとめる。
- 日常生活の中の話題について報告や紹介をしたり，それらを聞いて質問や助言をしたりする。
- 日常生活の中の話題について対話や討論などを行う。

〔中学校 ２年生〕

- 社会生活の中から話題を決め，話したり話し合ったりするための材料を多様な方法で集め整理する。
- 異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ，話の中心的部分と付加的な部分などに注意し，論理的な構成や展開を考えて話す。
- 目的や状況に応じて，資料や機器などを効果的に活用して話す。
- 話の論理的な構成や展開などに注意して聞き，自分の考えと比較する。
- 相手の立場や考えを尊重し，目的に沿って話し合い，互いの発言を検討して自分の考えを広げる。
- 調べて分かったことや考えたことなどに基づいて説明や発表をしたり，それらを聞いて意見を述べたりする。
- 社会生活の中の話題について，司会や提案者などを立てて討論を行う。

〔中学校 3 年生〕

- 社会生活の中から話題を決め、自分の経験や知識を整理して考えをまとめ、語句や文を効果的に使い、資料などを活用して説得力のある話をする。
- 場の状況や相手の様子に応じて話すとともに、敬語を適切に使う。
- 聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりする。
- 話合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合う。
- 時間や場の条件に合わせてスピーチをしたり、それを聞いて自分の表現の参考にしたりする。
- 社会生活の中の話題について、相手を説得するために意見を述べ合う。

B 書くこと

〔小学校 1 年生及び小学校 2 年生〕

- 経験したことや想像したことなどから書くことを決め、書こうとする題材に必要な事柄を集める。
- 自分の考えが明確になるように事柄の順序に沿って簡単な構成を考える
- 語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書く。
- 文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いなどに気付き、正す。
- 書いたものを読み合い、よいところを見付けて感想を伝え合う。
- 想像したことなどを文章に書く。
- 経験したことを報告する文章や観察したことを記録する文章などを書く
- 身近な事物を簡単に説明する文章などを書く。
- 紹介したいことをメモにまとめたり、文章に書いたりする。
- 伝えたいことを簡単な手紙に書く。

〔小学校 3 年生及び小学校 4 年生〕

- 関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を調べる。
- 文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成する。
- 書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書く。
- 文章の敬体と常体との違いに注意しながら書く。
- 文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりする。
- 書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合う。
- 身近なこと、想像したことなどを基に、詩をつくったり、物語を書いたりする。
- 疑問に思ったことを調べて、報告する文章を書いたり、新聞などに表したりする。

- 収集した資料を効果的に使い，説明する文章などを書く。
- 目的に合わせて依頼状，案内状，礼状などの手紙を書く。

〔小学校 ５年生及び小学校 ６年生〕

- 目的や意図に応じて，書く事柄を収集し全体を見通して事柄を整理する。
- 自分の考えを明確に表現するため，文章全体の構成の効果を考える。
- 事実と感想，意見などとを区別するとともに，目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする。
- 引用したり，図表やグラフなどを用いたりして，自分の考えが伝わるように書く。
- 表現の効果などについて確かめたり工夫したりする。
- 書いたものを発表し合い，表現の仕方に着目して助言し合う。
- 経験したこと，想像したことなどを基に，詩や短歌，俳句をつくったり，物語や随筆などを書いたりする。
- 自分の課題について調べ，意見を記述した文章や活動を報告した文章などを書いたり編集したりする。
- 事物のよさを多くの人に伝えるための文章を書く。

〔中学校 １年生〕

- 日常生活の中から課題を決め，材料を集めながら自分の考えをまとめる。
- 集めた材料を分類するなどして整理するとともに，段落の役割を考えて文章を構成する。
- 伝えたい事実や事柄について，自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書く。
- 書いた文章を読み返し，表記や語句の用法，叙述の仕方などを確かめて，読みやすく分かりやすい文章にする。
- 書いた文章を互いに読み合い，題材のとらえ方や材料の用い方，根拠の明確さなどについて意見を述べたり，自分の表現の参考にしたりする。
- 関心のある芸術的な作品などについて，鑑賞したことを文章に書く。
- 図表などを用いた説明や記録の文章を書く。
- 行事等の案内や報告をする文章を書く。

〔中学校 ２年生〕

- 社会生活の中から課題を決め，多様な方法で材料を集めながら自分の考えをまとめる。
- 伝えたい事実や事柄を明確にして文章の構成を工夫する。
- 事実や事柄，意見や心情が相手に効果的に伝わるように，説明や具体例を加えたり，描写を工夫したりして書く。
- 書いた文章を読み返し，語句や文の使い方，段落相互の関係などに注意して，読みやすく分かりやすい文章にする。
- 書いた文章を互いに読み合い，文章の構成や材料の活用の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして，自分の考えを広げる。

- 表現の仕方を工夫して，詩歌をつくったり物語などを書いたりする。
- 多様な考えができる事柄について，意見を述べる文章を書く。
- 社会生活に必要な手紙を書く。

〔中学校 3 年生〕

- 社会生活の中から課題を決め，取材を繰り返しながら自分の考えを深めるとともに，文章の形態を選択して適切な構成を工夫する。
- 論理の展開を工夫し，資料を適切に引用するなどして，説得力のある文章を書く。
- 書いた文章を読み返し，文章全体を整える。
- 書いた文章を互いに読み合い，論理の展開の仕方や表現の仕方について評価して自分の表現に役立てるとともに，ものの見方や考え方を深める。
- 関心のある事柄について批評する文章を書く。
- 目的に応じて様々な文章などを集め，工夫して編集する。

C 読むこと

〔小学校 1 年生及び小学校 2 年生〕

- 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する。
- 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読む。
- 場面の様子について，登場人物の行動を中心に想像を広げながら読む。
- 文章の中の大事な言葉や文を書き抜く。
- 文章の内容と自分の経験とを結び付けて，自分の思いや考えをまとめ，発表し合う。
- 楽しんだり知識を得たりするために，本や文章を選んで読む。
- 本や文章を楽しんだり，想像を広げたりしながら読む。
- 物語の読み聞かせを聞いたり，物語を演じたりする。
- 事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読む。
- 物語や，科学的なことについて書いた本や文章を読んで，感想を書く。
- 読んだ本について，好きなところを紹介する。
- 昔話や神話・伝承などの本や文章の読み聞かせを聞いたり，発表し合ったりする。
- 言葉には，事物の内容を表す働きや，経験したことを伝える働きがあることに気付く。
- 音節と文字との関係や，アクセントによる語の意味の違いなどに気付く。
- 言葉には，意味による語句のまとまりがあることに気付く。
- 長音，拗音，促音，撥音などの表記ができ，助詞の「は」，「へ」及び「を」を文の中で正しく使う。
- 句読点の打ち方や，かぎ（「 」）の使い方を理解して文章の中で使う。
- 文の中における主語と述語との関係に注意する。
- 敬体で書かれた文章に慣れる。

〔小学校 3 年生及び小学校 4 年生〕

- 内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読する。
- 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読む。
- 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読む。
- 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりする。
- 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付く。
- 目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読む。
- 物語や詩を読み、感想を述べ合う。
- 記録や報告の文章、図鑑や事典などを読んで利用する。
- 記録や報告の文章を読んでまとめたものを読み合う。
- 紹介したい本を取り上げて説明する。
- 必要な情報を得るために読んだ内容に関連した他の本や文章などを読む
- 易しい文語調の短歌や俳句について、情景を思い浮かべたり、リズムを感じ取りながら音読や暗唱をしたりする。
- 長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語の意味を知り、使う。
- 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付く。

〔小学校 ５年生及び小学校 ６年生〕

- 自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をする。
- 本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫する。
- 文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりする。
- 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめる。
- 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりする。
- 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読む。
- 伝記を読み、自分の生き方について考える。
- 自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用する。
- 編集の仕方や記事の書き方に注意して新聞を読む。
- 本を読んで推薦の文章を書く。
- 親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章について、内容の大体を知り、音読する。
- 古典について解説した文章を読み、昔の人のものの見方や感じ方を知る。
- 話し言葉と書き言葉との違いに気付く。
- 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く。
- 語句の構成、変化などについての理解を深め、また、語句の由来などに関心をもつ。
- 文章の中での語句と語句との関係を理解する。
- 語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつ。
- 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解する。
- 日常よく使われる**敬語の使い方**に慣れる。

- **比喩や反復などの表現**の工夫に気付く。

〔中学校 1 年生〕

- 文脈の中における語句の意味を的確にとらえ，理解する。
- 文章の中心的な部分と付加的な部分，事実と意見などを読み分け，目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりする。
- 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み，内容の理解に役立てる。
- 文章の構成や展開，表現の特徴について，自分の考えをもつ。
- 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ，自分のものの見方や考え方を広げる。
- 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け，目的に応じて必要な情報を読み取る。
- 様々な種類の文章を音読したり朗読したりする。
- 文章と図表などとの関連を考えながら，説明や記録の文章を読む。
- 課題に沿って本を読み，必要に応じて引用して紹介する。

〔中学校 2 年生〕

- 抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意して読む。
- 文章全体と部分との関係，例示や描写の効果，登場人物の言動の意味などを考え，内容の理解に役立てる。
- 文章の構成や展開，表現の仕方について，根拠を明確にして自分の考えをまとめる。
- 文章に表れているものの見方や考え方について，知識や体験と関連付けて自分の考えをもつ。
- 多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て，自分の考えをまとめる。
- 詩歌や物語などを読み，内容や表現の仕方について感想を交流する。
- 説明や評論などの文章を読み，内容や表現の仕方について自分の考えを述べる。
- 新聞やインターネット，学校図書館等の施設などを活用して得た情報を比較する。

〔中学校 3 年生〕

- 文脈の中における語句の効果的な使い方など，表現上の工夫に注意して読む。
- 文章の論理の展開の仕方，場面や登場人物の設定の仕方をとらえ，内容の理解に役立てる。
- 文章を読み比べるなどして，構成や展開，表現の仕方について評価する。
- 文章を読んで人間，社会，自然などについて考え，自分の意見をもつ。
- 目的に応じて本や文章などを読み，知識を広げたり，自分の考えを深めたりする。
- 物語や小説などを読んで批評する。

- 論説や報道などに盛り込まれた情報を比較して読む。
- 自分の読書生活を振り返り，本の選び方や読み方について考える。

〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ひらがな・漢字など

〔小学校 1 年生及び小学校 2 年生〕

- **平仮名及び片仮名を読み，書く。**
- **片仮名で書く語の種類を知り**，文や文章の中で使う。
- **小学校 1 年生では，配当されている漢字を読み**，漸次書き，文や文章の中で使う。
- **小学校 2 年生では，小学校 2 年生までに配当されている漢字を読む。**
- **小学校 2 年生では，小学校 1 年生に配当されている漢字を書き**，文や文章の中で使うとともに，小学校 2 年生に配当されている漢字を漸次書き，文や文章の中で使う。
- **姿勢や筆記具の持ち方**を正しくし，文字の形に注意しながら丁寧に書く。
- **点画の長短や方向，接し方や交わり方**などに注意して，**筆順に従って文字を正しく書く。**

〔小学校 3 年生及び小学校 4 年生〕

- 漢字と仮名を用いた表記などに関心をもつ。
- **送り仮名**に注意して書き，また，活用についての意識をもつ。
- **句読点**を適切に打ち，また，**段落の始め，会話の部分などの必要な箇所は行を改めて書く。**
- 表現したり理解したりするために必要な語句を増し，また，語句には性質や役割の上で類別があることを理解する。
- 表現したり理解したりするために必要な文字や語句について，辞書を利用して調べる方法を理解し，調べる習慣を付ける。
- 修飾と被修飾との関係など，文の構成について初歩的な理解をもつ。
- 指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し使う
- 日常使われている簡単な単語について，**ローマ字で表記されたものを読み，また，ローマ字で書く。**（小学校 3 年生）
- 小学校 3 年生及び小学校 4 年生の各学年においては，学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読む。また，当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き，文や文章の中で使うとともに，当該学年に配当されている漢字を漸次書き，文や文章の中で使う。
- 漢字のへん，つくりなどの構成についての知識をもつ。
- 文字の組立て方を理解し，形を整えて書く。
- 漢字や仮名の大きさ，配列に注意して書く。
- 点画の種類を理解し，毛筆を使用して筆圧などに注意して書く。

〔小学校 5 年生及び小学校 6 年生〕

- 小学校 5 年生及び小学校 6 年生の各学年においては，学年別漢字配当表

の当該学年までに配当されている漢字を読む。また，当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き，文や文章の中で使うとともに，当該学年に配当されている漢字を漸次書き，文や文章の中で使う。

- 仮名及び**漢字の由来**，特質などについて理解する。
- 送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書く。
- 用紙全体との関係に注意し，文字の大きさや配列などを決めるとともに，書く速さを意識して書く。
- 目的に応じて使用する筆記具を選び，その特徴を生かして書く。
- 毛筆を使用して，穂先の動きと点画のつながりを意識して書く。

〔中学校 1 年生〕

- 文語のきまりや訓読の仕方を知り，古文や漢文を音読して，古典特有のリズムを味わいながら，古典の世界に触れる。
- 古典には様々な種類の作品があることを知る。
- 音声の働きや仕組みについて関心をもち，理解を深める。
- 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意し，語感を磨く。
- 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに，話や文章の中の語彙について関心をもつ。
- 単語の類別について理解し，指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意する。
- 比喩や反復などの表現の技法について理解する。
- 常用漢字のうち **250 字程度から 300 字程度までの漢字を読む**。
- **学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き**，文や文章の中で使う。
- 字形を整え，文字の大きさ，配列について理解して楷書で書く。
- 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書く。

〔中学校 2 年生〕

- 作品の特徴を生かして朗読するなどして，古典の世界を楽しむ。
- 古典に表れたものの見方や考え方に触れ，登場人物や作者の思いなどを想像する。
- 話し言葉と書き言葉との違い，共通語と方言の果たす役割，敬語の働きなどについて理解する。
- 抽象的な概念を表す語句，類義語と対義語，同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し，語感を磨き語彙を豊かにする。
- 文の中の文の成分の順序や照応，文の構成などについて考える。
- 単語の活用について理解し，助詞や助動詞などの働きに注意する。
- 目的に応じて話や文章の形態や展開に違いがあることを理解する。
- 中学校 1 年生までに学習した常用漢字に加え，その他の常用漢字のうち **300 字程度から 350 字程度までの漢字を読む**。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を書き，文や文章の中で使う。
- 漢字の行書と調和した仮名の書き方を理解して，読みやすく速く書く。
- 目的や必要に応じて，楷書又は行書を選んで書く。

〔中学校 3年生〕

- 歴史的背景などに注意して古典を読み，その世界に親しむ。
- 古典の一節を引用するなどして，古典に関する簡単な文章を書く。
- 言葉の特徴やきまりに関する事項
- 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いを理解するとともに，敬語を社会生活の中で適切に使う。
- 慣用句・四字熟語などに関する知識を広げ，和語・漢語・外来語などの使い分けに注意し，語感を磨き語彙を豊かにする。
- **常用漢字の大体を読む。**
- 学年別漢字配当表に示されている漢字について，文や文章の中で使い慣れる。
- 身の回りの多様な文字に関心をもち，効果的に文字を書く。

小学校 学年別漢字配当表

第一学年	一右雨円王音下火花貝学気九休玉金空月犬見五口校左三山子四糸字耳 七車手十出女小上森人水正生青夕石赤千川先早草足村大男竹中虫町天 田土二日入年白八百文木本名目立力林六 (80 字)
第二学年	引羽雲園遠何科夏家歌画回会海絵外角楽活間丸岩顔汽記帰弓牛魚京強 教近兄形計元言原戸古午後語工公広交光考行高黄合谷国黒今才細 作算止市矢姉思紙寺自時室社弱首秋週春書少場色食心新親図数西声星 晴切雪船線前組走多太体台地池知茶昼長鳥朝直通弟店点電刀冬当東答 頭同道読内南肉馬壳買麦半番父風分聞米歩母方北毎妹万明鳴毛門夜野 友用曜来里理話 (160 字)
第三学年	悪安暗医委意育員院飲運泳駅央横屋温化荷界開階寒感漢館岸起期客究 急級宮球去橋業曲局銀区苦具君係輕血決研県庫湖向幸港号根祭皿仕死 使始指齒詩次事持式実写者主守取酒受州拾終習集住重宿所暑助昭消商 章勝乗植申身神真深進世整昔全相送想息速族他打对待代第題炭短談着 注柱丁帳調追定庭笛鉄転都度投豆島湯登等動童農波配倍箱畑発反坂板 皮悲美鼻筆氷表秒病晶負部服福物平返勉放味命面問役薬由油有遊予羊 洋葉陽様落流旅両緑礼列練路和 (200 字)
第四学年	愛案以衣位困胃印英栄塩億加果貨課芽改械害街各覚完官管関観願希季 紀喜旗器機議求泣救給拳漁共協鏡競極訓軍郡径型景芸欠結建健験固功 好候航康告差菜最材昨札刷殺察参産散残士氏史司試児治辞失借種周祝 順初松笑唱焼象照賞臣信成省清静席積折節説浅戦選然争倉巢束側続卒 孫帶隊達単置仲貯兆腸低底停の典伝徒努灯堂働特得毒熱念敗梅博飯飛 費必票標不夫付府副粉兵別辺変便包法望牧末満未脈民無約勇要養浴利 陸良料量輪類令冷例歴連老勞録 (200 字)
第五学年	圧移因永営衛易益液演応往桜恩可仮価河過賀快解格確額刊幹慣眼基寄 規技義逆久旧居許境均禁句群経潔件券険検限現減故個護効厚耕鉦構興 講混査再災妻採際在財罪雑酸賛支志枝師資飼示似識質舎謝授修述術準 序招承証条状常情織職制性政勢精製税責績接設舌絶銭祖素総造像増則 測属率損退貸態団断築張提程適敵統銅導徳独任燃能破犯判版比肥非備 依評貧布婦富武復複仏編弁保墓報豊防貿暴務夢迷綿輸余預容略留領 (185 字)
第六学年	異遺域宇映延沿我灰拡革閣割株干巻看簡危机揮貴疑吸供胸郷勤筋系敬 警劇激穴絹権憲源厳己呼誤后孝皇紅降鋼刻穀骨困砂座濟裁策冊蚕至私 姿視詞誌磁射捨尺若樹収宗就衆従縦縮熟純処署諸除将傷障城蒸針仁垂 推寸盛聖誠宣専泉洗染善奏窓創装層操蔵藏存尊宅担探誕段暖値宙忠著 庁頂潮賃痛展討党糖届難乳認納脳派拝背肺俳班晩否批秘腹奮並陞閉片 補暮宝訪亡忘棒枚幕密盟模訳郵優幼欲翌乱卵覧裏律臨朗論 (181 字)

中学校 常用漢字表

中学校で習う常用漢字 = 939字（学年別の割り当ては決めていない）

漢 検 四 級	握扱依偉威為維緯違井忤稻芋陰隱影銳越援煙緣鉛汚奧押沖憶暇箇菓雅 介壞戒皆獲較刈乾勸歡汗環甘監鑑含奇幾祈輝鬼儀戲詰却脚丘及朽巨拋 距凶叫恐況狂狹響驚仰驅屈掘繰傾恵繼迎擊兼劍圈堅肩軒遣玄枯誇鼓互 御恒抗攻更稿荒項香豪腰込婚鎖彩歳載劑咲惨伺刺旨紫脂雌執芝斜煮釈 寂朱狩趣需秀舟襲柔獸瞬旬盾巡召床沼称紹詳丈置飾殖触侵寢慎振浸薪 震尋尽陣吹澄是姓征跡占扇鮮訴僧燥騷贈即俗耐替拓沢濁脱丹嘆淡端弾 恥致遅蓄徴跳沈珍堤抵摘滴添殿吐渡途奴怒倒唐塔桃盗到踏逃透闘胴峠 突曇鈍忒惱濃杯輩拍泊薄迫爆髪罰拔搬繁般販範盤彼疲被避尾微匹描浜 敏怖敷普浮腐膚賦舞幅払噴柄壁舗捕峰抱砲傍坊帽忙冒肪凡盆慢漫妙眠 矛霧娘茂猛網黙紋躍雄与誉溶謡踊翼頼雷絡欄離粒慮療隣涙隸麗齡曆劣 烈恋露郎惑腕 (316 字)
漢 検 三 級	哀慰詠悦閱宴炎欧殴乙卸穩佳嫁架華餓塊怪悔慨概該穫郭隔岳掛滑冠勘 喚換敢緩肝貫企岐忌既棋棄軌騎欺犧菊吉喫虐虚峽脅凝斤緊愚偶遇桑刑 啓契憩掲携鷄鯨俟賢幻孤弧雇顧娛悟坑孔巧慌拘控甲硬絞綱郊酵克獄壘 恨紺魂債催削搾錯撮擦暫施祉諮侍慈軸湿疾赦邪殊寿潤遵徐匠掌昇晶焦 衝鐘冗嬢讓錠囁辱伸審辛炊粃衰遂醉随髓瀨牲請隻惜斥籍摂潜繕措礎粗 阻双掃葬遭憎促賊怠滯胎袋逮淹卓扱託諾奪胆鍛壇稚畜室抽鑄駐彫聴脹 超鎮陳墜帝締訂哲塗斗凍痘陶匿篤豚如尿粘婆排陪縛伐伴帆畔藩壘卑泌 碑姫漂苗符赴封伏覆墳紛癖穂募慕簿倣奉崩縫胞芳邦飽乏妨房某膨謀墨 没翻魔埋膜又魅媚滅免幽憂誘揚揺擁抑裸濫吏隆了獮糧陵厘励零靈裂廉 鍊炉廊楼浪漏湾 (286 字)
漢 検 二 級	亜尉逸姻韻渦浦疫謁猿凹翁寡禍稼蚊懷拐効涯垣嚇核殻渦喝括渴褐轄且 堪寛患憾棺款缶艦還閑陥頑飢偽宜擬窮糾拒享恭挾矯曉琴菌襟謹吟虞隅 靴黝薰慶溪荳螢傑嫌懸献謙顛弦吳晷侯江洪溝肯衡貢購剛拷酷懇昆佐唆 詐宰栽碎斎崎索傘棧嗣肢賜滋璽漆遮蛇勺爵酌珠儒囚愁臭酬醜充汁洩銃 叔淑肅塾俊准循殉庶緒叙償升奨宵尚彰抄涉症硝礁祥粧肖訟詔剩壤浄醸 唇娠紳診刃甚迅酢帥睡鍾崇枢据杉畝誓逝斉析拙窃仙栓旋織薦踐遷銑漸 禅塑疎租喪壯搜挿曹槽莊藻霜墮妥惰駄泰濯但棚痴逐秩嫡衷弔懲挑眺勅 朕津塚漬坪釣亭偵貞呈廷艇遞邸泥徹撤迭悼搭棟筒騰騰洞督凸屯縄軟尼 妊忍寧猫把霸廢培媒賠伯舶漠肌鉢閥煩煩嬖庠披罷寶頻瓶扶譜附侮沸憤 霽丙併塀幣弊偏遍俸泡褻剖紡僕撲朴堀奔摩磨麻抹繭岬銘妄盲耗戾勾厄 柳愉癒諭唯悠猶裕融庸窯羅酪履痢硫竜虜僚寮涼倫壘累鈴賄粹 (337 字)

○ 内容の取扱い

〔中学校〕

言葉の特徴やきまりについては，日常の言語活動を振り返り，言葉の特
徴やきまりに気付かせ，言語生活の向上に役立てることを重視する。

文字を正しく整えて速く書くことができるようにするとともに，書写の
能力を学習や生活に役立てる態度を育てるよう配慮する。

伝え合う力，思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにする。

小学校 算数 ・ 中学校 数学

小学校目標（身に付けること）

算数的活動を通して，数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け，日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え，表現する能力を育てるとともに，算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づき，進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる。

〔小学校 １年生〕

具体物を用いた活動などを通して，

- 数についての感覚を豊かにする。
- 数の意味や表し方について理解できるようにする。
- 加法及び減法の意味について理解し，計算の仕方を考え，用いる。
- 量とその測定についての理解の基礎となる経験を重ね，量の大きさについての感覚を豊かにする。
- 図形についての理解の基礎となる経験を重ね，図形についての感覚を豊かにする。
- 数量やその関係を言葉，数，式，図などに表したり読み取ったりする。

〔小学校 ２年生〕

具体物を用いた活動などを通して，

- 数についての感覚を豊かにする。
- 数の意味や表し方についての理解を深めるとともに，加法及び減法についての理解を深め，用いる。また，乗法の意味について理解し，その計算の仕方を考え，用いる。
- 長さや体積などの単位と測定について理解できるようにし，量の大きさについての感覚を豊かにする。
- 三角形や四角形などの図形について理解できるようにし，図形についての感覚を豊かにする。
- 数量やその関係を言葉，数，式，図，表，グラフなどに表したり読み取ったりする。

〔小学校 ３年生〕

- 加法及び減法を適切に用いることができ，乗法についての理解を深め，適切に用いる。
- 除法の意味について理解し，その計算の仕方考え，用いる。
- 小数及び分数の意味や表し方について理解できる。
- 長さ，重さ及び時間の単位と測定について理解できる。
- 図形を構成する要素に着目して，二等辺三角形や正三角形などの図形について理解できる。
- 数量やその関係を言葉，数，式，図，表，グラフなどに表したり読み取ったりする。

〔小学校 4 年生〕

- 除法についての理解を深め，適切に用いる。
- 小数及び分数の意味や表し方についての理解を深め，小数及び分数についての加法及び減法の意味を理解し，それらの計算の仕方を考え，用いる。
- 概数について理解し，目的に応じて用いる。
- 面積の単位と測定について理解し，図形の面積を求めることができる。角の大きさの単位と測定について理解できる。
- 図形を構成要素及びそれらの位置関係に着目して考察し，平行四辺形やひし形などの平面図形及び直方体などの立体図形について理解できる。。
- 数量や関係を言葉，数，式，図，表，グラフに表したり調べたりする。

〔小学校 5 年生〕

- 整数の性質についての理解を深める。
- 小数の乗法及び除法や分数の加法及び減法の意味についての理解を深めそれらの計算の仕方を考え，用いる。
- 三角形や平行四辺形などの面積及び直方体などの体積を求める。
- 測定値の平均及び異種の二つの量の割合について理解できる。
- 平面図形についての理解を深めるとともに，角柱などの立体図形について理解できる。
- 数量の関係を考察するとともに，百分率や円グラフなどを用いて資料の特徴を調べる。

〔小学校 6 年生〕

- 分数の乗法及び除法の意味についての理解を深め，それらの計算の仕方を考え，用いる。
- 円の面積及び角柱などの体積を求めることができるようにするとともに速さについて理解し，求める。
- 縮図や拡大図，対称な図形について理解し図形についての理解を深める。
- 比や比例について理解し，数量の関係の考察に関数の考えを用い，文字を用いて式に表すことができる。また，資料の散らばりを調べ統計的に考察する。

中学校目標（身に付けること）

数学的活動を通して，数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め，数学的な表現や処理の仕方を習得し，事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに，数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し，それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。

〔中学校 １年生〕

- 数を正の数と負の数まで拡張し，数の概念についての理解を深める。
- 文字を用いることや方程式の必要性和意味を理解する。
- 数量の関係や法則などを一般的にかつ簡潔に表現して処理したり，一元一次方程式を用いたりする能力を培う。
- 平面図形や空間図形についての観察，操作や実験などの活動を通して，図形に対する直観的な見方や考え方を深めるとともに，論理的に考察し表現する能力を培う。
- 具体的な事象を調べることを通して，比例，反比例についての理解を深めるとともに，関数関係を見いだし表現し考察する能力を培う。
- 目的に応じて資料を収集して整理し，その資料の傾向を読み取る能力を培う。

〔中学校 ２年生〕

- 文字を用いた式について，目的に応じて計算したり変形したりする能力を養うとともに，連立二元一次方程式について理解し用いる能力を培う。
- 基本的な平面図形の性質について，観察，操作や実験などの活動を通して理解を深めるとともに，図形の性質の考察における数学的な推論の必要性和意味及びその方法を理解し，論理的に考察し表現する能力を養う。
- 具体的な事象を調べることを通して，一次関数について理解するとともに，関数関係を見いだし表現し考察する能力を養う。
- 不確定な事象を調べることを通して，確率について理解し用いる能力を培う。

〔中学校 ３年生〕

- 数の平方根について理解し，数の概念についての理解を深める。
- 目的に応じて計算したり式を変形したりする能力を伸ばす。
- 二次方程式について理解し用いる能力を培う。
- 図形の相似，円周角と中心角の関係や三平方の定理について理解し，図形の性質の考察や計量に用いる能力を伸ばすとともに，図形について見通しをもって論理的に考察し表現する能力を伸ばす。
- 具体的な事象を調べることを通して，関数 $y=ax^2$ について理解するとともに，関数関係を見いだし表現し考察する能力を伸ばす。
- 母集団から標本を取り出し，その傾向を調べることで，母集団の傾向を読み取る能力を培う。

指導内容

A 数と計算

〔小学校 1 年生〕

- ものの個数を数えることなどの活動を通して、数の意味について理解し、数を用いる。
- ものともものとを対応させることによって、ものの個数を比べる。
- 個数や順番を正しく数えたり表したりする。
- 数の大小や順序を考えることによって、数の系列を作ったり、数直線の上に表したりする。
- 一つの数をほかの数の和や差としてみるなど、ほかの数と関係付けてみる。
- 2 位数の表し方について理解する。
- 簡単な場合について、3 位数の表し方を知る。
- 数を十を単位としてみる。
- 加法及び減法の意味について理解し、それらを用いる。
- 加法及び減法が用いられる場合について知る。
- 1 位数と 1 位数との加法及びその逆の減法の計算の仕方を考え、計算が確実にできる。
- 簡単な場合について、2 位数などの加法及び減法の計算の仕方を考える。

〔小学校 2 年生〕

- 数の意味や表し方について理解し、数を用いる能力を伸ばす。
- 同じ大きさの集まりにまとめて数えたり、分類して数えたりする。
- 4 位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方及び数の大小や順序について理解する。
- 数を十や百を単位として、数の相対的な大きさについて理解する。
- 一つの数をほかの数の積としてみるなど、ほかの数と関係付けてみる。
- $\frac{1}{2}$ $\frac{1}{4}$ など簡単な分数について知る。

1 万についても取り扱う

必要な場合には、() や口などを用いることができる。

- 加法及び減法についての理解を深め、それらを用いる能力を伸ばす。
- 2 位数の加法及びその逆の減法の計算の仕方を考え、それらの計算が 1 位数などについて基本的な計算を基にしてできることを理解し、それらの計算が確実にできる。また、それらの筆算の仕方について理解する。
- 簡単な場合について、3 位数などの加法及び減法の計算の仕方を考える。
- 加法及び減法に関して成り立つ性質を調べ、それを計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりすることに生かす。

交換法則や結合法則を取り扱う。

- 乗法の意味について理解し、それを用いる。
- 乗法が用いられる場合について知る。
- 乗法に関して成り立つ簡単な性質を調べ、それを乗法九九を構成したり計算の確かめをしたりすることに生かす。

乗数が 1 ずつ増えるときの積の増え方や交換法則を取り扱う。

- 乗法九九について知り、1 位数と 1 位数との乗法の計算が確実にできる。

- 簡単な場合について，2 位数と 1 位数との乗法の計算の仕方を考える。

〔小学校 3 年生〕

- 整数の表し方についての理解を深め，数を用いる能力を伸ばす。
- 万の単位について知る。
- 10 倍，100 倍， $\frac{1}{10}$ の大きさの数及びその表し方について知る。
- 数の相対的な大きさについての理解を深める。
1 億も取り扱うものとする。
- 加法及び減法の計算が確実にできるようにし，それらを適切に用いる能力を伸ばす。
- 3 位数や 4 位数の加法及び減法の計算の仕方を考え，それらの計算が 2 位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解する。また，それらの筆算の仕方について理解する。
- 加法及び減法の計算が確実にでき，それらを適切に用いる。
- 加法及び減法に関して成り立つ性質を調べ，それを計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりすることに生かす。
交換法則や結合法則を取り扱う。
簡単な計算は暗算でできるよう配慮する。
- 乗法についての理解を深め，その計算が確実にでき，適切に用いる能力を伸ばす。
- 2 位数や 3 位数に 1 位数や 2 位数をかける乗法の計算の仕方を考え，それらの計算が乗法九九などの基本的な計算を基にしてできることを理解する。また，その筆算の仕方について理解する。
- 乗法の計算が確実にでき，それを適切に用いる。
- 乗法に関して成り立つ性質を調べ，それを計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりすることに生かす。
簡単な計算は暗算でできるよう配慮する。
交換法則，結合法則や分配法則を取り扱う。
乗数又は被乗数が 0 の場合の計算についても取り扱う。
- 除法の意味について理解し，それを用いる。
- 除法が用いられる場合について知る。また，余りについて知る。
- 除法と乗法や減法との関係について理解する。
- 除数と商が共に 1 位数である除法の計算が確実にできる。
- 簡単な場合について，除数が 1 位数で商が 2 位数の除法の計算の仕方を考える。
- 小数の意味や表し方について理解できる。
- 端数部分の大きさを表すのに小数を用いる。
また，小数の表し方及び $\frac{1}{10}$ 位について知る。
- 右の位までの小数の加法及び減法の意味について理解し，計算の仕方を考え，それらの計算ができる。
小数の 0.1 と分数の $\frac{1}{10}$ などを数直線を用いて関連付けて取り扱う。
- 分数の意味や表し方について理解できる。

- 等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表すのに分数を用いる。また、分数の表し方について知る。
- 分数は、単位分数の幾つ分かで表せることを知る。
- 簡単な場合について、分数の加法及び減法の意味について理解し、計算の仕方を考える。
- そろばんによる数の表し方について知り、そろばんを用いて簡単な加法及び減法の計算ができる。
- そろばんによる数の表し方について知る。
- 加法及び減法の計算の仕方について知る。

〔小学校 4 年生〕

- 整数が十進位取り記数法によって表されていることの理解を深める。
- 億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についてまとめる。
大きな数を表す際に、3桁ごとに区切りを用いる場合があることに触れる。
- 概数について理解し、目的に応じて用いる。
- 概数が用いられる場合について知る。
- 四捨五入について知る。
- 目的に応じて四則計算の結果の見積りをする。
簡単な計算は暗算ででき、暗算を筆算や見積りに生かす。
- 整数の除法についての理解を深め、その計算が確実にできるようにし、それを適切に用いる能力を伸ばす。
- 除数が1位数や2位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算の仕方を考え、それらの計算が基本的な計算を基にしてできることを理解する。また、その筆算の仕方について理解する。
- 除法の計算が確実にでき、それを適切に用いる。
- 除法について、被除数、除数、商及び余りの間の関係を調べ、次の式にまとめる。
$$(\text{被除数}) = (\text{除数}) \times (\text{商}) + (\text{余り})$$
- 除法に関して成り立つ性質を調べ、それを計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりすることに生かす。
除数及び被除数に同じ数をかけても、同じ数で割っても商は変わらないという性質を取り扱う。
- 整数の計算の能力を定着させ、それをを用いる能力を伸ばす。
簡単な計算は暗算ででき、暗算を筆算や見積りに生かす。
- 小数とその加法及び減法についての理解を深めるとともに、小数の乗法及び除法の意味について理解し、それらを用いることができる。
- 小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深める。
- 小数の加法及び減法の計算の仕方を考え、それらの計算ができる。
- 乗数や除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の計算の仕方を考えそれらの計算ができる。
整数を整数で割って商が小数になる場合も含める。
- 分数についての理解を深めるとともに、同分母の分数の加法及び減法の意味について理解し、それらを用いる。
- 簡単な場合について、大きさの等しい分数がおることに着目する。

- 同分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を考えそれらの計算ができる
- そろばんを用いて，加法及び減法の計算ができる。

〔小学校 ５年生〕

- 整数の性質についての理解を深める。
- 整数は，観点を決めると偶数，奇数に類別されることを知る。
- 約数，倍数について知る。
最大公約数や最小公倍数を形式的に求めることに偏ることなく，具体的な場面に即して取り扱うものとする。
 また，約数を調べる過程で素数について触れる。
- 記数法の考えを通して整数及び小数についての理解を深め，それを計算などに有効に用いる。
- 10 倍，100 倍，などの大きさの数をつくり，それらの関係を調べる。
- 小数の乗法及び除法の意味についての理解を深め，それらを用いる。
- 乗数や除数が整数である場合の計算の考え方を基にして，乗数や除数が小数である場合の乗法及び除法の意味について理解する。
- 小数の乗法及び除法の計算の仕方を考え，それらの計算ができる。
 また，余りの大きさについて理解する。
- 小数の乗法及び除法についても，整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解する。
- 分数についての理解を深めるとともに，異分母の分数の加法及び減法の意味について理解し，それらを用いる。
- 整数及び小数を分数の形に直したり，分数を小数で表したりする。
- 整数の除法の結果は，分数を用いると常に一つの数として表すことができることを理解する。
- 一つの分数の分子及び分母に同じ数を乗除してできる分数は，元の分数と同じ大きさを表すことを理解する。
- 分数の相等及び大小について考え，大小の比べ方をまとめる。
- 異分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を考え，それらの計算ができる。
- 乗数や除数が整数である場合の分数の乗法及び除法の意味について理解し，計算の仕方を考え，それらの計算ができる。

〔小学校 ６年生〕

- 分数の乗法及び除法の意味についての理解を深め，それらを用いる。
- 乗数や除数が整数や小数である場合の計算の考え方を基にして，乗数や除数が分数である場合の乗法及び除法の意味について理解する。
- 分数の乗法及び除法の計算の仕方を考え，それらの計算ができる。
- 分数の乗法及び除法についても，整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解する。
逆数を用いて除法を乗法の計算としてみることや，整数や小数の乗法や除法を分数の場合の計算にまとめることも取り扱う。
- 小数及び分数の計算の能力を定着させ，用いる能力を伸ばす。

〔中学校 1 年生〕

- 具体的な場面を通して正の数と負の数について理解し，その四則計算ができるようにするとともに，正の数と負の数を用いて表現し考察する。
- 正の数と負の数の必要性和意味を理解する。
- 小学校で学習した数の四則計算と関連付けて，正の数と負の数の四則計算の意味を理解する。
- 正の数と負の数の四則計算をする。
- 具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり処理したりする。
- 文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を培うとともに，文字を用いた式の計算ができる。
- 文字を用いることの必要性和意味を理解する。
- 文字を用いた式における乗法と除法の表し方を知る。
- 簡単な一次式の加法と減法の計算をする。
- 数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し，式を用いて表したり読み取ったりする。
- 方程式について理解し，一元一次方程式を用いて考察することができる。
- 方程式の必要性和意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解する
- 等式の性質を基にして，方程式が解けることを知る。
- 簡単な一元一次方程式を解き，それを具体的な場面で活用する。

数の集合と四則計算の可能性を取り扱う。
大小関係を不等式を用いて表すことを取り扱う。
簡単な比例式を解くことを取り扱う。

〔中学校 2 年生〕

- 具体的な事象の中に数量の関係を見だし，それを文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を養うとともに，文字を用いた式の四則計算ができる。
- 簡単な整式の加法，減法及び単項式の乗法，除法の計算をする。
- 文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明できる。
- 目的に応じて，簡単な式を変形する。
- 連立二元一次方程式について理解し，それを用いて考察する。
- 二元一次方程式とその解の意味を理解する。
- 連立二元一次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解する。
- 簡単な連立二元一次方程式を解くこと，及びそれを具体的な場面で活用する。

〔中学校 3 年生〕

- 正の数の平方根について理解し，それを用いて表現し考察する。
- 数の平方根の必要性和意味を理解する。

- 数の平方根を含む簡単な式の計算をする。
- 具体的な場面で数の平方根を用いて表したり処理したりする。
- 文字を用いた簡単な多項式について，式の展開や因数分解ができるようにするとともに，目的に応じて式を変形したりその意味を読み取ったりする能力を伸ばす。

自然数を素因数に分解することを取り扱う。

- 単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をする
- 簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をする。

$$(a + b)^2 = a^2 + 2ab + b^2$$

$$(a - b)^2 = a^2 - 2ab + b^2$$

$$(a + b)(a - b) = a^2 - b^2$$

$$(x + a)(x + b) = x^2 + (a + b)x + ab$$

- 文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明する。
- 二次方程式について理解し，それを用いて考察する。
- 二次方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解する。
- 因数分解したり平方の形に変形したりして二次方程式を解く。
- 解の公式を知り，それを用いて二次方程式を解く。
- 二次方程式を具体的な場面で活用する。

実数の解をもつ二次方程式を取り扱う。

$ax^2=b$ (a, b は有理数) の二次方程式及び $x^2+px+q=0$ (p, q は整数) の二次方程式を取り扱うものとする。

因数分解して解くことの指導においては，公式を用いることができるものを中心に扱う。

平方の形に変形して解くことの指導においては， x の係数が偶数であるものを中心に扱う。

B 量と測定

〔小学校 1 年生〕

- 大きさを比較するなどの活動を通して，量とその測定についての理解の基礎となる経験を豊かにする。
- 長さ，面積，体積を直接比べる。
- 身の回りにあるものの大きさを単位として，その幾つ分かで大きさを比べる。
- 日常生活の中で時刻を読む。

〔小学校 2 年生〕

- 長さについて単位と測定の意味を理解し，長さの測定ができる。
- 長さの単位(ミリメートル(mm)，センチメートル(cm)，メートル(m))について知る。
- 体積について単位と測定の意味を理解し，体積の測定ができる。
- 体積の単位(ミリリットル(ml)，デシリットル(dℓ)，リットル(ℓ))について知る。
- 時間について理解し，それを用いる。

- 日，時，分について知り，それらの関係を理解する。

〔小学校 3 年生〕

- 長さについての理解を深めるとともに，重さについて単位と測定の意味を理解し，重さの測定ができる。
- 長さの単位(キロメートル(km))について知る。
- 重さの単位(グラム(g)，キログラム(kg))について知る。
トン(t)の単位についても触れる。
- 長さや重さについて，およその見当を付けたり，目的に応じて単位や計器を適切に選んで測定したりできる。
- 時間について理解できる。
- 秒について知る。
- 日常生活の中で必要となる時刻や時間を求める。

〔小学校 4 年生〕

- 面積について単位と測定の意味を理解し，面積を計算で求める。
- 面積の単位
平方センチメートル(cm^2)，平方メートル(m^2)，
平方キロメートル(km^2)について知る。
アール(a)，ヘクタール(ha)の単位についても触れる。
- 正方形及び長方形の面積の求め方を考える。
- 角の大きさについて単位と測定の意味を理解し，角の大きさの測定ができる。
- 角の大きさを回転の大きさとしてとらえる。
- 角の大きさの単位(度($^\circ$))について知る。

〔小学校 5 年生〕

- 図形の面積を計算によって求める。
- 三角形，平行四辺形，ひし形及び台形の面積の求め方を考える。
- 体積について単位と測定の意味を理解し，体積を計算で求める。
- 体積の単位(立方センチメートル(cm^3)，立方メートル(m^3))について知る。
- 立方体及び直方体の体積の求め方を考える。
- 量の大きさの測定値について理解できる。
- 測定値の平均について知る。
- 異種の二つの量の割合としてとらえられる数量について，その比べ方や表し方を理解できる。
- 単位量当たりの大きさについて知る。

〔小学校 6 年生〕

B 量と測定

- 身の回りにある形について，その概形をとらえ，およその面積などを求

める。

- 図形の面積を計算によって求める。
- 円の面積の求め方を考える。
円周率は3.14を用いる。
- 図形の体積を計算によって求める。
- 角柱及び円柱の体積の求め方を考える。
- 速さについて理解し、求める。
- メートル法の単位の仕組みについて理解できる。

C 図 形

〔小学校 1 年生〕

- 身の回りにあるものの形についての観察や構成などの活動を通して、図形についての理解の基礎となる経験を豊かにする。
- ものの形を認めたり、形の特徴をとらえたりする。
- 前後、左右、上下など方向や位置に関する言葉を正しく用いて、ものの位置を言い表す。

〔小学校 2 年生〕

- ものの形についての観察や構成などの活動を通して、図形を構成する要素に着目し、図形について理解できる。
- 三角形、四角形について知る。
- 正方形、長方形、直角三角形について知る。
- 箱の形をしたものについて知る。

〔小学校 3 年生〕

- 図形についての観察や構成などの活動を通して、図形を構成する要素に着目し、図形について理解できる。
- 二等辺三角形、正三角形について知る。
- 角について知る。
- 円、球について知る。それらの中心、半径、直径について知る。

〔小学校 4 年生〕

- 図形についての観察や構成などの活動を通して、図形の構成要素及びそれらの位置関係に着目し、図形についての理解を深める。
- 直線の平行や垂直の関係について理解する。
- 平行四辺形、ひし形、台形について知る。
- 図形についての観察や構成などの活動を通して、立体図形について理解できる。
- 立方体、直方体について知る。
見取図や展開図をかくことを取り扱う。
- 直方体に関連して、直線や平面の平行や垂直の関係について理解する。

- ものの位置の表し方について理解できる。

〔小学校 5 年生〕

- 図形についての観察や構成などの活動を通して，平面図形についての理解を深める。
- 多角形や正多角形について知る。
- 図形の合同について理解する。
- 図形の性質を見だし，それを用いて図形を調べたり構成したりする。
- 円周率について理解する。
円周率は 3.14 を用いるものとする。
- 図形についての観察や構成などの活動を通して，立体図形について理解できる。
- 角柱や円柱について知る。
見取図や展開図をかくことを取り扱う。

〔小学校 6 年生〕

- 図形についての観察や構成などの活動を通して，平面図形についての理解を深める。
- 縮図や拡大図について理解する。
- 対称な図形について理解する。

指導内容 中学校

B 図形

〔中学校 1 年生〕

- 観察，操作や実験などの活動を通して，見通しをもって作図したり図形の関係について調べたりして平面図形についての理解を深めるとともに，論理的に考察し表現する能力を培う。
- 角の二等分線，線分の垂直二等分線，垂線などの基本的な作図の方法を理解し，それを具体的な場面で活用する。
- 平行移動，対称移動及び回転移動について理解し，二つの図形の関係について調べる。
- 観察，操作や実験などの活動を通して，空間図形についての理解を深めるとともに，図形の計量についての能力を伸ばす。
- 空間における直線や平面の位置関係を知る。
- 空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものととらえたり空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を読み取ったりする。
- 扇形の弧の長さや面積並びに基本的な柱体，錐体及び球の表面積と体積を求める。

**円の接線はその接点を通る半径に垂直であることを取り扱う。
見取図，展開図や投影図を取り扱う。**

誤差や近似値， $a \times 10^n$ の形の表現を取り扱う。

〔中学校 2 年生〕

- 観察，操作や実験などの活動を通して，基本的な平面図形の性質を見だし，平行線の性質を基にしてそれらを確認する。
- 平行線や角の性質を理解し，図形の性質を確認説明する。
- 平行線の性質や三角形の角についての性質を基にして，多角形の角についての性質が見いだせることを知る。

正方形，ひし形，長方形が平行四辺形の特別な形であることを取り扱う。

- 図形の合同について理解し図形についての見方を深めるとともに，図形の性質を三角形の合同条件などを基にして確かめ，論理的に考察し表現する能力を養う。
- 平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解する。
- 証明の必要性和意味及びその方法について理解する。
- 三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり，図形の性質の証明を読んで新たな性質を見いだしたりする。

〔中学校 3 年生〕

- 図形の性質を三角形の相似条件などを基にして確かめ，論理的に考察し表現する能力を伸ばし，相似な図形の性質を用いて考察する。
- 平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解する。
- 三角形の相似条件を基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめる。
- 平行線と線分の比についての性質を見だし，それらを確認する。
- 基本的な立体の相似の意味と，相似な図形の相似比と面積比及び体積比の関係について理解する。
- 相似な図形の性質を具体的な場面で活用する。
- 観察，操作や実験などの活動を通して，円周角と中心角の関係を見いだして理解し，それを用いて考察する。
- 円周角と中心角の関係の意味を理解し，それが証明できることを知る。

円周角の定理の逆を取り扱うものとする。

- 円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用する。
- 観察，操作や実験などの活動を通して，三平方の定理を見いだして理解し，それを用いて考察する。
- 三平方の定理の意味を理解し，それが証明できることを知る。
- 三平方の定理を具体的な場面で活用する。

D 数量関係

〔小学校 1 年生〕

- 加法及び減法が用いられる場面を式に表したり，式を読み取ったりする。
- ものの個数を絵や図などを用いて表したり読み取ったりする。

〔小学校 2 年生〕

- 加法と減法の相互関係について理解し，式を用いて説明できる。
- 乗法が用いられる場面を式に表したり，式を読み取ったりすることができる。
- 身の回りにある数量を分類整理し，簡単な表やグラフを用いて表したり読み取ったりする。

〔小学校 3 年生〕

- 除法が用いられる場面を式に表したり，式を読み取ったりすることができる。
- 数量の関係を表す式について理解し，式を用いることができる。
- 数量の関係を式に表したり，式と図を関連付けたりする。
- 数量を口などを用いて表し，その関係を式に表したり，口などに数を当てはめて調べたりする。
- 資料を分類整理し，表やグラフを用いて分かりやすく表したり読み取ったりする。
- 棒グラフの読み方やかき方を知る。

〔小学校 4 年生〕

- 伴って変わる二つの数量の関係を表したり調べたりすることができる。
- 変化の様子を折れ線グラフを用いて表したり，変化の特徴を読み取ったりする。
- 数量の関係を表す式について理解し，式を用いることができる。
- 四則の混合した式や()を用いた式について理解し，正しく計算する。
- 公式についての考え方を理解し，公式を用いる。
- 数量を口， などを用いて表し，その関係を式に表したり，□， など に数を当てはめて調べたりする。
- 四則に関して成り立つ性質についての理解を深める。
- 交換法則，結合法則，分配法則についてまとめる。
- 目的に応じて資料を集めて分類整理し，表やグラフを用いて分かりやすく表したり，特徴を調べたりする。
- 資料を二つの観点から分類整理して特徴を調べる。
- 折れ線グラフの読み方やかき方について知る。

資料を調べるときに，落ちや重なりがないようにすることを取り扱う。

〔小学校 5 年生〕

- 表を用いて、伴って変わる二つの数量の関係を考察できる。
- 簡単な場合について、比例の関係があることを知る。
- 数量の関係を表す式についての理解を深め、簡単な式で表されている関係について、二つの数量の対応や変わり方に着目できる。
- 百分率について理解できる。
歩合の表し方について触れる。
- 目的に応じて資料を集めて分類整理し、円グラフや帯グラフを用いて表したり、特徴を調べたりする。

〔小学校 6 年生〕

- 比について理解できる。
- 伴って変わる二つの数量の関係を考察する。
- 比例の関係について理解する。また、式、表、グラフを用いてその特徴を調べる。
- 比例の関係をj用いて、問題を解決する。
- 反比例の関係について知る。
- 数量の関係を表す式についての理解を深め、式を用いる。
- 数量を表す言葉や口、などの代わりに、 a 、 x などの文字を用いて式に表したり、文字に数を当てはめて調べたりする。
- 資料の平均や散らばりを調べ、統計的に考察したり表現したりする。
- 資料の平均について知る。
- 度数分布を表す表やグラフについて知る。
- 具体的な事柄について、起こり得る場合を順序よく整理して調べる。

指導内容 中学校

C 関数

〔中学校 1 年生〕

- 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、比例、反比例の関係についての理解を深めるとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を培う。
- 関数関係の意味を理解する。
- 比例、反比例の意味を理解する。
- 座標の意味を理解する。
- 比例、反比例を表、式、グラフなどで表し、それらの特徴を理解する。
- 比例、反比例を用いて具体的な事象をとらえ説明する。

〔中学校 2 年生〕

- 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見い

だし表現し考察する能力を養う。

- 事象の中には一次関数としてとらえられるものがあることを知る。
- 一次関数について，表，式，グラフを相互に関連付けて理解する。
- 二元一次方程式を関数を表す式とみる。
- 一次関数を用いて具体的な事象をとらえ説明する。

〔中学校 3 年生〕

- 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し，それらの変化や対応を調べることを通して，関数 $y=ax^2$ について理解するとともに，関数関係を見だし表現し考察する能力を伸ばす。
- 事象の中には関数 $y=ax^2$ としてとらえられるものがあることを知る。
- 関数 $y=ax^2$ について，表，式，グラフを相互に関連付けて理解する。
- 関数 $y=ax^2$ を用いて具体的な事象をとらえ説明する。
- いろいろな事象の中に，関数関係があることを理解する。

指導内容 中学校

D 資料の活用

〔中学校 1 年生〕

- 目的に応じて資料を収集し，コンピュータを用いたりするなどして表やグラフに整理し，代表値や資料の散らばりに着目してその資料の傾向を読み取る。
- ヒストグラムや代表値の必要性和意味を理解する。
- ヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向をとらえ説明する。

〔中学校 2 年生〕

- 不確定な事象についての観察や実験などの活動を通して，確率について理解し，それを用いて考察し表現する。
- 確率の必要性和意味を理解し，簡単な場合について確率を求める。
- 確率を用いて不確定な事象をとらえ説明する。

〔中学校 3 年生〕

- コンピュータを用いたりするなどして，母集団から標本を取り出し，標本の傾向を調べることで，母集団の傾向が読み取れることを理解できる。
- 標本調査の必要性和意味を理解する。
- 簡単な場合について標本調査を行い，母集団の傾向をとらえ説明する。

〔算数的活動〕

〔小学校 1 年生〕

- 次のような算数的活動を通して指導する。
- 具体物をまとめて数えたり等分したりし，それを整理して表す活動
- 計算の意味や計算の仕方を，具体物を用いたり，言葉，数，式，図を用いたりして表す活動
- 身の回りにあるものの長さ，面積，体積を直接比べたり，他のものを用いて比べたりする活動
- 身の回りから，いろいろな形を見付けたり，具体物を用いて形を作ったり分解したりする活動
- 数量についての具体的な場面を式に表したり，式を具体的な場面に結び付けたりする活動

〔小学校 2 年生〕

- 次のような算数的活動を通して指導する。
- 身の回りから，整数が使われている場面を見付ける活動
- 乗法九九の表を構成したり観察したりして，計算の性質やきまりを見付ける活動
- 身の回りにあるものの長さや体積について，およその見当を付けたり，単位を用いて測定したりする活動
- 正方形，長方形，直角三角形をかいたり，作ったり，それらで平面を敷き詰めたりする活動
- 加法と減法の相互関係を図や式に表し，説明する活動
必要な場合には，() や口などを用いる。

〔小学校 3 年生〕

- 次のような算数的活動を通して指導する。
- 整数，小数及び分数の計算の意味や計算の仕方を，具体物を用いたり，言葉，数，式，図を用いたりして考え，説明する活動
- 小数や分数を具体物，図，数直線を用いて表し，大きさを比べる活動
- 長さ，体積，重さのそれぞれに単位の間関係を調べる活動
- 二等辺三角形や正三角形を定規とコンパスを用いて作図する活動
- 日時や場所などの観点から資料を分類整理し，表を用いて表す活動

〔小学校 4 年生〕

- 次のような算数的活動を通して指導する。
- 目的に応じて計算の結果の見積りをし，計算の仕方や結果について適切に判断する活動
- 長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を，具体物を用いたり，言葉，数，式，図を用いたりして考え，説明する活動
- 身の回りにあるものの面積を実際に測定する活動

- 平行四辺形，ひし形，台形で平面を敷き詰めて図形の性質を調べる活動
- 身の回りから，伴って変わる二つの数量を見付け，数量の関係を表やグラフを用いて表し，調べる活動

〔小学校 5 年生〕

- 次のような算数的活動を通して指導する。
- 小数についての計算の意味や計算の仕方を，言葉，数，式，図，数直線を用いて考え，説明する活動
- 三角形，平行四辺形，ひし形及び台形の面積の求め方を，具体物を用いたり，言葉，数，式，図を用いたりして考え，説明する活動
- 合同な図形をかいたり，作ったりする活動
- 三角形の三つの角の大きさの和が 180° になることを帰納的に考え，説明する活動。四角形の四つの角の大きさの和が 360° になることを演繹的に考え，説明する活動
- 目的に応じて表やグラフを選び，活用する活動

〔小学校 6 年生〕

- 次のような算数的活動を通して指導する。
- 分数についての計算の意味や計算の仕方を，言葉，数，式，図，数直線を用いて考え，説明する活動
- 身の回りで使われている量の単位を見付けたり，それがこれまでに学習した単位とどのような関係にあるかを調べたりする活動
- 身の回りから，縮図や拡大図，対称な図形を見付ける活動
- 身の回りから，比例の関係にある二つの数量を見付けたり，比例の関係をj用いて問題を解決したりする活動

〔数学的活動〕

〔中学校 1 年生〕

- 既習の数学を基にして，数や図形の性質などを見いだす活動
- 日常生活で数学を利用する活動
- 数学的な表現を用いて，自分なりに説明し伝え合う活動

〔中学校 2 年生〕

- 「A 数と式」，「B 図形」，「C 関数」及び「D 資料の活用」の学習やそれらを相互に関連付けた学習において，次のような数学的活動に取り組む機会を設けるものとする。
- 既習の数学を基にして，数や図形の性質などを見いだし発展させる活動
- 日常生活や社会で数学を利用する活動
- 数学的な表現を用いて根拠を明らかにし筋道立てて説明し伝え合う活動

〔用語・記号〕

〔小学校 1 年生〕

一の位 十の位 十 - =

〔小学校 2 年生〕

単位 直線 直角 頂点 辺 面 × > <

〔小学校 3 年生〕

等号 不等号 小数点 $\frac{1}{10}$ 位数 直線 分母 分子 ÷

〔小学校 4 年生〕

和 差 積 商 以上 以下 未満 真分数 仮分数 帯分数
平行 垂直 対角線 平面

〔小学校 5 年生〕

最大公約数 最小公倍数 通分 約分 底面 側面 比例 %

〔小学校 6 年生〕

線対称 点対称 :

〔中学校 1 年生〕

〔用語・記号〕A 数と式

自然数 符号 絶対値 項 係数 移項

〔中学校 2 年生〕

〔用語・記号〕A 数と式

同類項

〔中学校 3 年生〕

〔用語・記号〕A 数と式

根号 有理数 無理数 因数 √

〔中学校 1 年生〕

〔用語・記号〕B 図形

弧 弦 回転体 ねじれの位置 π //

〔中学校 2 年生〕

〔用語・記号〕B 図形

対頂角 内角 外角 定義 証明 逆 $\equiv$

〔中学校 3 年生〕

〔用語・記号〕B 図形

〔中学校 1 年生〕

〔用語・記号〕C 関数

関数 変数 変域

〔中学校 2 年生〕

〔用語・記号〕C 関数

変化の割合 傾き

〔中学校 1 年生〕

〔用語・記号〕D 資料の活用

平均値 中央値 最頻値 相対度数 範囲 階級

〔中学校 3 年生〕

〔用語・記号〕D 資料の活用

全数調査

小学校 理科 ・ 中学校 理科

目 標 小学校 理科（身に付けること）

自然に親しみ，見通しをもって観察，実験などを行い，問題解決の能力と自然を愛する心情を育てるとともに，自然の事物・現象についての実感を伴った理解を図り，科学的な見方や考え方を養う。

〔小学校 3 年生〕

- 物の重さ，風やゴムの力並びに光，磁石及び電気を働かせたときの現象を比較し，見いだした問題を興味・関心をもって追究したりものづくりをしたりする活動を通して，性質や働きについての見方や考え方を養う。
- 身近に見られる動物や植物，日なたと日陰の地面を比較しながら調べ，見いだした問題を興味・関心をもって追究する活動を通して，生物を愛護する態度を育てるとともに，生物の成長のきまりや体のつくり，生物と環境とのかかわり，太陽と地面の様子の関係についての見方や考え方を養う。

〔小学校 4 年生〕

- 空気や水，物の状態の変化，電気による現象を力，熱，電気の働きと関係付けながら調べ，見いだした問題を追究したりものづくりをしたりする活動を通して，それらの性質や働きについての見方や考え方を養う。
- 人の体のつくり，動物の活動や植物の成長，天気の様子，月や星の位置の変化を運動，季節，気温，時間など関係付けながら調べ，見いだした問題を興味・関心をもって追究する活動を通して，生物を愛護する態度を育てるとともに，人の体のつくりと運動，動物の活動や植物の成長と環境とのかかわり，気象現象，月や星の動きについての見方や考え方を養う。

〔小学校 5 年生〕

- 物の溶け方，振り子の運動，電磁石の変化や働きを条件に目を向けながら調べ，見いだした問題を計画的に追究したりものづくりをしたりする活動を通して，物の変化の規則性についての見方や考え方を養う。
- 植物の発芽から結実までの過程，動物の発生や成長，流水の様子，天気の変化を条件，時間，水量，自然災害などに目を向けながら調べ，見いだした問題を計画的に追究する活動を通して，生命を尊重する態度を育てるとともに，生命の連続性，流水の働き，気象現象の規則性についての見方や考え方を養う。

〔小学校 6 年生〕

- 燃焼，水溶液，てこ及び電気による現象についての要因や規則性を推論しながら調べ，見いだした問題を計画的に追究したりものづくりをしたりする活動を通して，物の性質や規則性についての見方や考え方を養う。

- 生物の体のつくりと働き，生物と環境，土地のつくりと変化の様子，月と太陽の関係を推論しながら調べ，見いだした問題を計画的に追究する活動を通して，生命を尊重する態度を育てるとともに，生物の体の働き，生物と環境とのかかわり，土地のつくりと変化のきまり，月の位置や特徴についての見方や考え方を養う。

目 標 中学校 理科（身に付けること）

自然の事物・現象に進んでかかわり，目的意識をもって観察，実験などを行い，科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め，科学的な見方や考え方を養う。

〔第1分野〕〔中学校〕

- 物質やエネルギーに関する事物・現象に進んでかかわり，その中に問題を見いだし意欲的に探究する活動を通して，規則性を発見したり課題を解決したりする方法を習得させる。
- 物理的な事物・現象についての観察，実験を行い，観察・実験技能を習得させ，観察，実験の結果を分析して解釈し表現する能力を育てるとともに，身近な物理現象，電流とその利用，運動とエネルギーなどについて理解させ，これらの事物・現象に対する科学的な見方や考え方を養う。
- 化学的な事物・現象についての観察，実験を行い，観察・実験技能を習得させ，観察，実験の結果を分析して解釈し表現する能力を育てるとともに，身の回りの物質，化学変化と原子・分子，化学変化とイオンなどについて理解させ，これらの事物・現象に対する科学的な見方や考え方を養う。
- 物質やエネルギーに関する事物・現象を調べる活動を行い，これらの活動を通して科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて認識を深め，科学的に考える態度を養うとともに，自然を総合的に見ることができるようになる。

〔第2分野〕〔中学校〕

- 生物とそれを取り巻く自然の事物・現象に進んでかかわり，その中に問題を見いだし意欲的に探究する活動を通して，多様性や規則性を発見したり課題を解決したりする方法を習得させる。
- 生物や生物現象についての観察，実験を行い，観察・実験技能を習得させ，観察，実験の結果を分析して解釈し表現する能力を育てるとともに，生物の生活と種類，生命の連続性などについて理解させ，これらの事物・現象に対する科学的な見方や考え方を養う。
- 地学的な事物・現象についての観察，実験を行い，観察・実験技能を習得させ，観察，実験の結果を分析して解釈し表現する能力を育てるとともに，大地の成り立ちと変化，気象とその変化，地球と宇宙などについて理解させ，これらの事物・現象に対する科学的な見方や考え方を養う。
- 生物とそれを取り巻く自然の事物・現象を調べる活動を行い，これらの活動を通して生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を育て，自然を総合的に見る。

指導内容 小学校
A 物質・エネルギー

〔小学校 3 年生〕

【物と重さ】

- 粘土を使い，物の重さや体積を調べ，物の性質についての考えをもつ。
- 物は，形が変わっても重さは変わらない。
- 物は，体積が同じでも重さは違うことがある。

【風やゴムの働き】

- 風やゴムで物が動く様子を調べ，風やゴムの働きについての考えをもつ。
- 風の力は，物を動かす。
- ゴムの力は，物を動かす。

【光の性質】

- 鏡などを使い，光の進み方や物に光が当たったときの明るさや暖かさを調べ，光の性質についての考えをもつ。
- 日光は集めたり反射させたりできる。
- 物に日光を当てると，物の明るさや暖かさが変わる。

【磁石の性質】

- 磁石に付く物や磁石の働きを調べ，磁石の性質についての考えをもつ。
- 物には，磁石に引き付けられる物と引き付けられない物がある。
- 磁石に引き付けられる物には，磁石に付けると磁石になる物がある。
- 磁石の異極は引き合い，同極は退け合う。

【電気の通り道】

- 乾電池に豆電球などをつなぎ，電気を通すつなぎ方や電気を通す物を調べ，電気の回路についての考えをもつ。
- 電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方がある。
- 電気を通す物と通さない物がある。

〔小学校 4 年生〕

【空気と水の性質】

- 閉じ込めた空気及び水に力を加え，その体積や押し返す力の変化を調べ，空気及び水の性質についての考えをもつ。
- 閉じ込めた空気を圧すと，体積は小さくなるが押し返す力は大きくなる。
- 閉じ込めた空気は押し縮められるが，水は押し縮められない。

【金属，水，空気と温度】

- 金属，水及び空気を温めたり冷やしたりして，それらの変化の様子を調べ，金属，水及び空気の性質についての考えをもつ。
- 金属，水及び空気は，温めたり冷やしたりすると，その体積が変わる。
- 金属は熱せられた部分から順に温まるが，水や空気は熱せられた部分が移動して全体が温まる。
- 水は，温度によって水蒸気や氷に変わる。また，水が氷になると体積が増える。

【電気の働き】

- 乾電池や光電池に豆電球やモーターなどをつなぎ，乾電池や光電池の働きを調べ，電気の働きについての考えをもつ。

- 乾電池の数やつなぎ方を変えると、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わる。

直列つなぎと並列つなぎを扱う。

- 光電池を使ってモーターを回すことなどができる。

〔小学校 5 年生〕

【物の溶け方】

- 物を水に溶かし、水の温度や量による溶け方の違いを調べ、物の溶け方の規則性についての考えをもつ。
- 物が水に溶ける量には限度がある。
- 物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違う。この性質を利用して、溶けている物を取り出す。
- 物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらない。

【振り子の運動】

- おもりを使い、おもりの重さや糸の長さなどを変えて振り子の動く様子を調べ、振り子の運動の規則性についての考えをもつ。
- 糸につるしたおもりが 1 往復する時間は、おもりの重さなどによっては変わらないが、糸の長さによって変わる。

【電流の働き】

- 電磁石の導線に電流を流し、電磁石の強さの変化を調べ、電流の働きについての考えをもつ。
- 電流の流れているコイルは、鉄心を磁化する働きがあり、電流の向きが変わると、電磁石の極が変わる。
- 電磁石の強さは、電流の強さや導線の巻数によって変わる。

〔小学校 6 年生〕

【燃焼の仕組み】

- 物を燃やし物や空気の変化を調べ、燃焼の仕組みについての考えをもつ。
- 植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができる。

【水溶液の性質】

- いろいろな水溶液を使い、その性質や金属を変化させる様子を調べ、水溶液の性質や働きについての考えをもつ。
- 水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがある。
- 水溶液には、気体が溶けているものがある。
- 水溶液には、金属を変化させるものがある。

【てこの規則性】

- てこを使い、力の加わる位置や大きさを変えて、てこの仕組みや働きを調べ、てこの規則性についての考えをもつ。
- 水平につり合った棒の支点から等距離に物をつるして棒が水平になったとき、物の重さは等しい。
- 力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性がある。
- 身の回りには、てこの規則性を利用した道具がある。

【電気の利用】

- 手回し発電機などを使い，電気の利用の仕方を調べ，電気の性質や働きについての考えをもつ。
- 電気は，つくりだしたり蓄えたりする。
- 電気は，光，音，熱などに変える。
- 電熱線の発熱は，その太さによって変わる。
- 身の回りには，電気の性質や働きを利用した道具がある。

B 生命・地球

〔小学校 3 年生〕

【昆虫と植物】

- 身近な昆虫や植物を探したり育てたりして，成長の過程や体のつくりを調べ，それらの成長のきまりや体のつくりについての考えをもつ。
- 昆虫の育ち方には一定の順序があり，成虫の体は頭，胸及び腹からできている。
- 植物の育ち方には一定の順序があり，その体は根，茎及び葉からできている。

【身近な自然の観察】

- 身の回りの生物の様子を調べ，生物とその周辺の環境との関係についての考えをもつ。
- 生物は，色，形，大きさなどの姿が違う。
- 生物は，その周辺の環境とかかわって生きている。

【太陽と地面の様子】

- 日陰の位置の変化や，日なたと日陰の地面の様子を調べ，太陽と地面の様子との関係についての考えをもつ。
- 日陰は太陽の光を遮るとでき，日陰の位置は太陽の動きによって変わる。
太陽が東から南を通して西に動くことを取り扱う。
太陽の動きを調べるときの方位は東，西，南，北を扱う。
- 地面は太陽によって暖められ，日なたと日陰では地面の暖かさや湿り気に違いがある。

〔小学校 4 年生〕

B 生命・地球

【人の体のつくりと運動】

- 人や他の動物の体の動きを観察したり資料を活用したりして，骨や筋肉の動きを調べ，人の体のつくりと運動とのかかわりについての考えをもつ。
- 人の体には骨と筋肉がある。
- 人が体を動かすことができるのは，骨，筋肉の働きによる。
関節の働きを扱う。

【季節と生物】

- 身近な動物や植物を探したり育てたりして，季節ごとの動物の活動や植物の成長を調べ，それらの活動や成長と環境とのかかわりについての考えをもつ。

- 動物の活動は，暖かい季節，寒い季節などによって違いがある。
- 植物の成長は，暖かい季節，寒い季節などによって違いがある。

【天気の様子】

- 1日の気温の変化や水が蒸発する様子などを観察し，天気や気温の変化，水と水蒸気との関係を調べ，天気の様子や自然界の水の変化についての考えをもつ。
- 天気によって1日の気温の変化の仕方に違いがある。
- 水は，水面や地面などから蒸発し水蒸気になって空気中に含まれていく。
- 空気中の水蒸気は，結露して再び水になって現れることがある。

【月と星】

- 月や星を観察し，月の位置と星の明るさや色及び位置を調べ，月や星の特徴や動きについての考えをもつ。
- 月は日によって形が変わって見え，1日のうちでも時刻によって位置が変わる。
- 空には，明るさや色の違う星がある。
- 星の集まりは，1日のうちでも時刻によって，並び方は変わらないが，位置が変わる。

〔小学校 5年生〕

【植物の発芽，成長，結実】

- 植物を育て，植物の発芽，成長及び結実の様子を調べ，植物の発芽，成長及び結実とその条件についての考えをもつ。
- 植物は，種子の中の養分を基にして発芽する。
- 植物の発芽には，水，空気及び温度が関係している。
- 植物の成長には，日光や肥料などが関係している。
- 花にはおしべやめしべなどがあり，花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり，実の中に種子ができる。

「種子の中の養分」については，でんぷんを扱う。

おしべ，めしべ，がく及び花びらを扱う。

受粉については，風や昆虫などが関係していることにも触れる。

【動物の誕生】

- 魚を育てたり人の発生についての資料を活用したりして，卵の変化の様子や水中の小さな生物を調べ，動物の発生や成長についての考えをもつ。
- 魚には雌雄があり，生まれた卵は日がつにつれて中の様子に変化してかえる。
- 魚は，水中の小さな生物を食べ物にして生きている。
- 人は，母体内で成長して生まれる。

受精に至る過程は取り扱わない。

【流水の働き】

- 地面を流れる水や川の様子を観察し，流れる水の速さや量による働きの違いを調べ，流れる水の働きと土地の変化の関係についての考えをもつ。
- 流れる水には，土地を侵食したり，石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがある。
- 川の上流と下流によって，川原の石の大きさや形に違いがある。
- 雨の降り方によって，流れる水の速さや水の量が変わり，増水により土地の様子が大きく変化する場合がある。

【天気の変化】

- 1日の雲の様子を観測したり，映像などの情報を活用したりして，雲の動きなどを調べ，天気の変化の仕方についての考えをもつ。
- 雲の量や動きは，天気の変化と関係がある。
- 天気の変化は，映像などの気象情報を用いて予想できる。
台風の進路による天気の変化や台風と降雨との関係にも触れる。

〔小学校 6年生〕

【人の体のつくりと働き】

- 人や他の動物を観察したり資料を活用したりして，呼吸，消化，排出及び循環の働きを調べ，人や他の動物の体のつくりと働きについての考えをもつ。
- 体内に酸素が取り入れられ，体外に二酸化炭素などが出されている。
- 食べ物は，口，胃，腸などを通る間に消化，吸収され，吸収されなかった物は排出される。
- 血液は，心臓の働きで体内を巡り，養分，酸素及び二酸化炭素などを運んでいる。
- 体内には，生命活動を維持するための様々な臓器がある。
心臓の拍動と脈拍が関係することにも触れる。
主な臓器として，肺，胃，小腸，大腸，肝臓，腎臓，心臓を扱う。

【植物の養分と水の通り道】

- 植物を観察し，植物の体内の水などの行方や葉で養分をつくる働きを調べ，植物の体のつくりと働きについての考えをもつ。
- 植物の葉に日光が当たるとでんぷんができる。
- 根，茎及び葉には，水の通り道があり，根から吸い上げられた水は主に葉から蒸散している。

【生物と環境】

- 動物や植物の生活を観察したり，資料を活用したりして調べ，生物と環境とのかかわりについての考えをもつ。
- 生物は，水及び空気を通して周囲の環境とかかわって生きている。
水が循環していることにも触れる。
- 生物の間には，食う食われるという関係がある。

【土地のつくりと変化】

- 土地やその中に含まれる物を観察し，土地のつくりや土地のでき方を調べ，土地のつくりと変化についての考えをもつ。
- 土地は，風砂，泥，火山灰及び岩石からできており，層をつくって広がっているものがある。
- 地層は，流れる水の働きや火山の噴火によってでき，化石が含まれているものがある。
- 土地は，火山の噴火や地震によって変化する。
岩石として傑岩，砂岩及び泥岩を扱う。
「化石」については，地層が流れる水の働きによって堆積したことを示す証拠として扱う。

【月と太陽】

- 月と太陽を観察し，月の位置や形と太陽の位置を調べ，月の形の見え方や表面の様子についての考えをもつ。

- 月の輝いている側に太陽がある。また，月の形の見え方は，太陽と月の位置関係によって変わる。
- 月の表面の様子は，太陽と違いがある。
地球から見た太陽と月の位置関係で扱う。

中学校 理科

指導内容 中学校 〔第1分野〕

〔第1分野〕〔中学校〕

『身近な物理現象』

身近な事物・現象についての観察，実験を通して，光や音の規則性，力の性質について理解させるとともに，これらの事物・現象を日常生活や社会と関連付けて科学的にみる見方や考え方を養う。

【光と音】

- 光の反射・屈折
光の反射や屈折の実験を行い，光が水やガラスなどの物質の境界面で反射，屈折するときの規則性を見いだす。
全反射も扱う。光の屈折で入射角と屈折角の定性的な関係にも触れる。
- 凸レンズの働き
凸レンズの働きについての実験を行い，物体の位置と像の位置及び像の大きさの関係を見いだす。
**光源の位置と像の位置，像の大きさの定性的な関係を調べる。
実像と虚像を扱う。**
- 音の性質
音についての実験を行い，音はものが振動することによって生じ空気中などを伝わること及び音の高さや大きさは発音体の振動の仕方に関係することを見いだす。
音の伝わる速さについて，空気中を伝わるおよその速さを扱う。

【力と圧力】

- 力の働き
物体に力を働かせる実験を行い，物体に力が働くとその物体が変形したり動き始めたり，運動の様子が変わったりすることを見いだすとともに，力は大きさと向きによって表されることを知る。
**ばねに加える力の大きさとばねの伸びの関係も扱う。
重さと質量の違いにも触れる。
力の単位としては「ニュートン」を用いる。**
- 圧力
圧力についての実験を行い，圧力は力の大きさと面積に関係があることを見いだす。また，水圧や大気圧の実験を行い，その結果を水や空気の重さと関連付けてとらえる。
**水中にある物体にはあらゆる向きから圧力が働くことにも触れる。
水中では物体に浮力が働くことにも触れる。**

〔第1分野〕〔中学校〕

『身の回りの物質』

身の回りの物質についての観察，実験を通して，固体や液体，気体の性質，物質の状態変化について理解させるとともに，物質の性質や変化の調べ方の基礎を身に付けさせる。

【物質のすがた】

- 身の回りの物質とその性質
身の回りの物質の性質を様々な方法で調べ，物質には密度や加熱したときの変化など固有の性質と共通の性質があることを見いだすとともに，実験器具の操作，記録の仕方などの技能を身に付ける。
有機物と無機物との違いや金属と非金属との違いを扱う。
代表的なプラスチックの性質にも触れる。
- 気体の発生と性質
気体を発生させてその性質を調べる実験を行い，気体の種類による特性を見いだすとともに，気体を発生させる方法や捕集法などの技能を身に付ける。
異なる方法を用いても同一の気体を得られることも扱う。

【水溶液】

- 物質の溶解
物質が水に溶ける様子の観察を行い，水溶液の中では溶質が均一に分散していることを見いだす。
粒子のモデルと関連付けて扱う。
質量パーセント濃度にも触れる。
- 溶解度と再結晶
水溶液から溶質を取り出す実験を行い，その結果を溶解度と関連付けてとらえる。
溶解度曲線にも触れる。

【状態変化】

- 状態変化と熱
物質の状態変化についての観察，実験を行い，状態変化によって物質の体積は変化するが質量は変化しないことを見いだす。
粒子のモデルと関連付けて扱う
粒子の運動にも触れる。
- 物質の融点と沸点
物質の状態が変化するときの温度の測定を行い，物質は融点や沸点を境に状態が変化的ることや沸点の違いによって物質の分離ができることを見いだす。
純粋な物質の状態変化を中心に扱う。

〔第1分野〕〔中学校〕

『電流とその利用』

電流回路についての観察，実験を通して，電流と電圧との関係及び電流の

働きについて理解させるとともに，日常生活や社会と関連付けて電流と磁界についての初歩的な見方や考え方を養う。

【電流】

- 回路と電流・電圧
回路をつくり，回路の電流や電圧を測定する実験を行い，回路の各点を流れる電流や各部に加わる電圧についての規則性を見いだす。
直列及び並列の回路を取り上げ，二つの抵抗のつなぎ方を中心に扱う。
- 電流・電圧と抵抗
金属線に加わる電圧と電流を測定する実験を行い，電圧と電流の関係を見いだすとともに金属線には電気抵抗があることを見いだす。
**「電気抵抗」では，物質の種類によって抵抗の値が異なることを扱う。
二つの抵抗をつなぐ場合の合成抵抗にも触れる。**
- 電気とそのエネルギー
電流によって熱や光などを発生させる実験を行い，電流から熱や光などが取り出せること及び電力の違いによって発生する熱や光などの量に違いがあることを見いだす。
**電力量も扱う。熱量にも触れる。
電流が電子の流れであることを扱う。**

〔第1分野〕〔中学校〕

『静電気と電流』

異なる物質同士をこすり合わせると静電気が起こり，帯電した物体間では空間を隔てて力が働くこと及び静電気と電流は関係があることを見いだす。

【電流と磁界】

- 電流がつくる磁界
磁石や電流による磁界の観察を行い，磁界を磁力線で表すことを理解するとともに，コイルの回りに磁界ができることを知る。
- 磁界中の電流が受ける力
磁石とコイルを用いた実験を行い，磁界中のコイルに電流を流すと力が働くことを見いだす。
電流の向きや磁界の向きを変えたときに力の向きが変わることを扱う。
- 電磁誘導と発電
磁石とコイルを用いた実験を行い，コイルや磁石を動かすことにより電流が得られることを見いだすとともに，直流と交流の違いを理解する。
コイルや磁石を動かす向きを変えたときに電流の向きが変わることを扱う。

〔第1分野〕〔中学校〕

『化学変化と原子・分子』

化学変化についての観察，実験を通して，化合，分解などにおける物質の変化やその量的な関係について理解させるとともに，これらの事物・現象を原子や分子のモデルと関連付けてみる見方や考え方を養う。

【物質の成り立ち】

- 物質の分解

物質を分解する実験を行い，分解して生成した物質から元の物質の成分が推定できることを見いだす。

- 原子・分子

物質は原子や分子からできていることを理解し，原子は記号で表されることを知る。

「原子」については，周期表を用いて多くの種類が存在することにも触れる。

「記号」については，基礎的なものを扱う。

【化学変化】

- 化合

2種類の物質を化合させる実験を行い，反応前とは異なる物質が生成することを見いだすとともに，化学変化は原子や分子のモデルで説明できること，化合物の組成は化学式で表されることが及び化学変化は化学反応式で表されることを理解する。

「化学式」及び「化学反応式」については，簡単なものを扱う。

- 酸化と還元

酸化や還元の実験を行い，酸化や還元が酸素の関係する反応であることを見いだす。

この「酸化や還元」については，簡単なものを扱う。

- 化学変化と熱

化学変化によって熱を取り出す実験を行い，化学変化には熱の出入りが伴うことを見いだす。

【化学変化と物質の質量】

- 化学変化と質量の保存

化学変化の前後における物質の質量を測定する実験を行い，反応物の質量の総和と生成物の質量の総和が等しいことを見いだす。

- 質量変化の規則性

化学変化に関係する物質の質量を測定する実験を行い，反応する物質の質量の間には一定の関係があることを見いだす。

〔第1分野〕〔中学校〕

『運動とエネルギー』

物体の運動やエネルギーに関する観察，実験を通して，物体の運動の規則性やエネルギーの基礎について理解させるとともに，日常生活や社会と関連付けて運動とエネルギーの初歩的な見方や考え方を養う。

【運動の規則性】

- 力のつり合い

物体に働く力についての実験を行い，力がつり合うときの条件を見いだす。力の合成と分解についての実験を行い，合力や分力の規則性を理解する。

物体に力が働くとき反対向きにも力が働くことにも触れる。

- 運動の速さと向き

物体の運動についての観察，実験を行い，運動には速さと向きがあることを知る。

「力が働く運動」のうち，落下運動については斜面に沿った運動を中心に扱う。

斜面の角度が 90 度になったときに自由落下になることにも触れる。

「物体の速さが変わること」については，定性的に扱う。

- 力と運動

物体に力が働く運動及び力が働かない運動についての観察，実験を行い，力が働く運動では運動の向きや時間の経過に伴って物体の速さが変わること及び力が働かない運動では物体は等速直線運動することを見いだす。

【力学的エネルギー】

- 仕事とエネルギー

仕事に関する実験を行い，仕事と仕事率について理解する。また，衝突の実験を行い，物体のもつエネルギーの量は物体が他の物体になしうる仕事で測れることを理解する。

- 力学的エネルギーの保存

力学的エネルギーに関する実験を行い，運動エネルギーと位置エネルギーが相互に移り変わることを見だし，力学的エネルギーの総量が保存されることを理解する。

〔第 1 分野〕〔中学校〕

『化学変化とイオン』

化学変化についての観察，実験を通して，水溶液の電気伝導性や中和反応について理解させるとともに，これらの事物・現象をイオンのモデルと関連付けてみる見方や考え方を養う。

【水溶液とイオン】

- 水溶液の電気伝導性

水溶液に電流を流す実験を行い，水溶液には電流が流れるものと流れないものがあることを見いだす。

- 原子の成り立ちとイオン

電気分解の実験を行い，電極に物質が生成することからイオンの存在を知る。また，イオンの生成が原子の成り立ちに関係することを知る。

「原子の成り立ち」については，原子が電子と原子核からできていることを扱う。原子核が陽子と中性子でできていることにも触れる。

「イオン」については，イオン式で表されることにも触れる。

- 化学変化と電池

電解質水溶液と 2 種類の金属などを用いた実験を行い，電流が取り出せることを見いだすとともに，化学エネルギーが電気エネルギーに変換されていることを知る。

「電池」については，電極で起こる反応を中心に扱う。

日常生活や社会で利用されている代表的な電池にも触れる。

【酸・アルカリとイオン】

- 酸・アルカリ

酸とアルカリの性質を調べる実験を行い，酸とアルカリのそれぞれの特性が水素イオンと水酸化物イオンによることを知る。

pH にも触れる。

- 中和と塩

中和反応の実験を行い，酸とアルカリを混ぜると水と塩が生成することを理解する。

水に溶ける塩と水に溶けない塩があることにも触れる。

〔第1分野〕〔中学校〕

『科学技術と人間』

エネルギー資源の利用や科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて認識を深め，自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し判断する態度を養う。

【エネルギー】

- 様々なエネルギーとその変換

エネルギーに関する観察，実験を通して，日常生活や社会では様々なエネルギーの変換を利用していることを理解する。

熱の伝わり方も扱う。また，「エネルギーの変換」については，その総量が保存されること及びエネルギーを利用する際の効率も扱う。

- エネルギー資源

人間は，水力，火力，原子力などからエネルギーを得ていることを知るとともに，エネルギーの有効な利用が大切であることを認識する。

放射線の性質と利用にも触れる。

【科学技術の発展】

- 科学技術の発展

科学技術の発展の過程を知るとともに，科学技術が人間の生活を豊かで便利にしてきたことを認識する。

【自然環境の保全と科学技術の利用】

- 自然環境の保全と科学技術の利用

自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し，持続可能な社会をつくることが重要であることを認識する。

指導内容 中学校 〔第2分野〕

〔第2分野〕〔中学校〕

『植物の生活と種類』

身近な植物などについての観察，実験を通して，生物の調べ方の基礎を身に付けさせるとともに，植物の体のつくりと働きを理解させ，植物の生活と種類についての認識を深める。

【生物の観察】

- 生物の観察

校庭や学校周辺の生物の観察を行い，いろいろな生物が様々な場所で生活していることを見いだすとともに，観察器具の操作，観察記録の仕方などの技能を身に付け，生物の調べ方の基礎を習得する。

植物を中心に上げ，水中の微小な生物の存在にも触れる。

【植物の体のつくりと働き】

○ 花のつくりと働き

いろいろな植物の花のつくりの観察を行い，その観察記録に基づいて，花のつくりの基本的な特徴を見いだすとともに，それらを花の働きと関連付けてとらえる。

被子植物を中心に取り上げる。

(花の働き)については，受粉後に胚珠が種子になることを中心に扱う。

○ 葉・茎・根のつくりと働き

いろいろな植物の葉，茎，根のつくりの観察を行い，その観察記録に基づいて，葉，茎，根のつくりの基本的な特徴を見いだすとともに，それらを光合成，呼吸，蒸散に関する実験結果と関連付けてとらえる。

光合成における葉緑体の働きにも触れる。

葉，茎，根の働きを相互に関連付けて全体の働きとしてとらえる。

【植物の仲間】

○ 種子植物の仲間

花や葉，茎，根の観察記録に基づいて，それらを相互に関連付けて考察し，植物が体のつくりの特徴に基づいて分類できることを見いだすとともに，植物の種類を知る方法を身に付ける。

○ 種子をつくらない植物の仲間

シダ植物やコケ植物の観察を行い，これらと種子植物の違いを知る。

シダ植物やコケ植物が胞子をつくることにも触れる。

〔第2分野〕〔中学校〕

『大地の成り立ちと変化』

大地の活動の様子や身近な岩石，地層，地形などの観察を通して，地表に見られる様々な事物・現象を大地の変化と関連付けて理解させ，大地の変化についての認識を深める。

【火山と地震】

○ 火山活動と火成岩

火山の形，活動の様子及びその噴出物を調べ，それらを地下のマグマの性質と関連付けてとらえるとともに，火山岩と深成岩の観察を行い，それらの組織の違いを成因と関連付けてとらえる。

「火山」については，粘性と関係付けながら代表的な火山を扱う。

「マグマの性質」については，粘性を扱う。

「火山岩」及び「深成岩」については，代表的な岩石を扱う。

代表的な造岩鉱物も扱う。

○ 地震の伝わり方と地球内部の働き

地震の体験や記録を基に，その揺れの大きさや伝わり方の規則性に気付くとともに，地震の原因を地球内部の働きと関連付けてとらえ，地震に伴う土地の変化の様子を理解する。

地震の現象面を中心に扱う。

初期微動継続時間と震源までの距離との定性的な関係にも触れる。

「地球内部の働き」については，日本付近のプレートの動きを扱う。

【地層の重なりと過去の様子】

○ 地層の重なりと過去の様子

野外観察などを行い，観察記録を基に，地層のでき方を考察し，重なり方や広がり方についての規則性を見いだすとともに，地層とその中の化石を手掛かりとして過去の環境と地質年代を推定する。

地層を形成している代表的な堆積岩も取り上げる。

「野外観察」については，学校内外の地層を観察する活動とする。

「地層」については，断層，褶曲にも触れる。

「化石」については，示相化石及び示準化石を取り上げる。

「地質年代」の区分は古生代，中生代，新生代の第三紀及び第四紀を取り上げる。

〔第2分野〕〔中学校〕

『動物の生活と生物の変遷』

生物の体は細胞からできていることを観察を通して理解させる。また，動物などについての観察，実験を通して，動物の体のつくりと働きを理解させ，動物の生活と種類についての認識を深めるとともに，生物の変遷について理解させる。

【生物と細胞】

○ 生物と細胞

生物の組織などの観察を行い，生物の体が細胞からできていること及び植物と動物の細胞のつくりの特徴を見いだす。

【動物の体のつくりと働き】

○ 生命を維持する働き

消化や呼吸，血液の循環についての観察，実験を行い，動物の体が必要な物質を取り入れ運搬している仕組みを観察，実験の結果と関連付けてとらえる。また，不要となった物質を排出する仕組みがあることについて理解する。

各器官の働きを中心に扱う。

「消化」については，代表的な消化酵素の働きを取り上げる。

摂取された食物が消化によって小腸の壁から吸収される物質になることにも触れる。

「呼吸」については，細胞の呼吸にも触れる。

「血液の循環」に関連して，血液成分の働き，腎臓や肝臓の働きにも触れる。

○ 刺激と反応

動物が外界の刺激に適切に反応している様子の観察を行い，その仕組みを感覚器官，神経系及び運動器官のつくりと関連付けてとらえる。

各器官の働きを中心に扱う。

【動物の仲間】

○ 脊椎動物の仲間

脊椎動物の観察記録に基づいて，体のつくりや子の生まれ方などの特徴を比較，整理し，脊椎動物が幾つかの仲間に分類できることを見いだす。

脊椎動物の体の表面の様子や呼吸の仕方，運動・感覚器官の発達，食物のとり方の違いに気付かせる。

○ 無脊椎動物の仲間

無脊椎動物の観察などを行い，その観察記録に基づいて，それらの動物の特徴を見いだす。

ウの。については，節足動物や軟体動物の観察を行い，それらの動

物と脊椎動物の体のつくりの特徴を比較することを中心に扱う。

【生物の変遷と進化】

○ 生物の変遷と進化

現存の生物や化石の比較などを基に，現存の生物は過去の生物が変化して生じてきたものであることを体のつくりと関連付けてとらえる。

進化の証拠とされる事柄や進化の具体例について取り上げる。生物にはその生息環境での生活に都合のよい特徴が見られることにも触れる。

〔第2分野〕〔中学校〕

『気象とその変化』

身近な気象の観察，観測を通して，気象要素と天気の変化の関係を見いださせるとともに，気象現象についてそれが起こる仕組みと規則性についての認識を深める。

【気象観測】

○ 気象観測

校庭などで気象観測を行い，観測方法や記録の仕方を身に付けるとともに，その観測記録などに基づいて，気温，湿度，気圧，風向などの変化と天気との関係を見いだす。

【天気の変化】

○ 霧や雲の発生

霧や雲の発生についての観察，実験を行い，そのでき方を気圧，気温及び湿度の変化と関連付けてとらえる。

気温による飽和水蒸気量の変化が湿度の変化や凝結にかかわりがあることを扱う。また，水の循環も扱う。

○ 前線の通過と天気の変化

前線の通過に伴う天気の変化の観測結果などに基づいて，その変化を暖気，寒気と関連付けてとらえる。

風の吹き方にも触れる。

【日本の気象】

○ 日本の天気の特徴

天気図や気象衛星画像などから，日本の天気の特徴を気団と関連付けてとらえる。

○ 大気の動きと海洋の影響

気象衛星画像や調査記録などから，日本の気象を日本付近の大気の動きや海洋の影響に関連付けてとらえる。

地球を取り巻く大気の動きにも触れる。また，地球の大きさや大気の厚さにも触れる。

〔第2分野〕〔中学校〕

『生命の連続性』

身近な生物についての観察，実験を通して，生物の成長と殖え方，遺伝現象について理解させるとともに，生命の連続性について認識を深める。

【生物の成長と殖え方】

○ 細胞分裂と生物の成長

体細胞分裂の観察を行い，その過程を確かめるとともに，細胞の分裂を生物の成長と関連付けてとらえる。

染色体が複製されることにも触れる。

○ 生物の殖え方

身近な生物の殖え方を観察し，有性生殖と無性生殖の特徴を見いだすとともに，生物が殖えていくときに親の形質が子に伝わることを見いだす。

有性生殖の仕組みを減数分裂と関連付けて扱う。

「無性生殖」については，単細胞生物の分裂や栄養生殖にも触れる。

【遺伝の規則性と遺伝子】

○ 遺伝の規則性と遺伝子

交配実験の結果などに基づいて，親の形質が子に伝わる時の規則性を見いだす。

分離の法則を扱う。

遺伝子に変化が起きて形質が変化することがあることや遺伝子の本体が DNA であることにも触れる。

〔第2分野〕〔中学校〕

『地球と宇宙』

身近な天体の観察を通して，地球の運動について考察させるとともに，太陽や惑星の特徴及び月の運動と見え方を理解させ，太陽系や恒星など宇宙についての認識を深める。

【天体の動きと地球の自転・公転】

○ 日周運動と自転

天体の日周運動の観察を行い，その観察記録を地球の自転と関連付けてとらえる。

○ 年周運動と公転

星座の年周運動や太陽の南中高度の変化などの観察を行い，その観察記録を地球の公転や地軸の傾きと関連付けてとらえる。

「太陽の南中高度の変化」については，季節による昼夜の長さや気温の変化にも触れる。

【太陽系と恒星】

○ 太陽の様子

太陽の観察を行い，その観察記録や資料に基づいて，太陽の特徴を見いだす。

「太陽の特徴」については，形，大きさ，表面の様子などを扱う。

放出された多量のエネルギーによる地表への影響にも触れる。

○ 月の運動と見え方

月の観察を行い，その観察記録や資料に基づいて，月の公転と見え方を関連付けてとらえる。

日食や月食にも触れる。

○ 惑星と恒星

観測資料などを基に，惑星と恒星などの特徴を理解するとともに，惑星の見え方を太陽系の構造と関連付けてとらえる。

「惑星」については，大きさ，大気組成，表面温度，衛星の存在などを取り上げる。

地球には生命を支える条件が備わっていることにも触れる。

「恒星」については、自ら光を放つことや太陽もその一つであることを扱う。

恒星の集団としての銀河系の存在にも触れる。

「太陽系の構造」における惑星の見え方については、金星を取り上げ、その満ち欠けと見かけの大きさを扱う。

惑星以外の天体が存在することにも触れる。

〔第2分野〕〔中学校〕

『自然と人間』

自然環境を調べ、自然界における生物相互の関係や自然界のつり合いについて理解させるとともに、自然と人間のかかわり方について認識を深め、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し判断する態度を養う。

【生物と環境】

- 自然界のつり合い
微生物の働きを調べ、植物、動物及び微生物を栄養の面から相互に関連付けてとらえるとともに、自然界では、これらの生物がつり合いを保って生活していることを見いだす。

生態系における生産者、消費者及び分解者の関連を扱う。

土壌動物にも触れる。

- 自然環境の調査と環境保全
身近な自然環境について調べ、様々な要因が自然界のつり合いに影響していることを理解するとともに、自然環境を保全することの重要性を認識する。

生物や大気、水などの自然環境を直接調べたり、記録や資料を基に調べたりするなどの活動を行う。

地球温暖化や外来種にも触れる。

【自然の恵みと災害】

- 自然の恵みと災害
自然がもたらす恵みと災害などについて調べ、これらを多面的、総合的にとらえて、自然と人間のかかわり方について考察する。

地球規模でのプレートの動きも扱う。

「災害」については、記録や資料などを用いて調べ、地域の災害について触れる。

【自然環境の保全と科学技術の利用】

- 自然環境の保全と科学技術の利用
自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し、持続可能な社会をつくることを認識する。

小学校 社会 ・ 中学校 社会

小学校目標（身に付けること）

社会生活についての理解を図り，我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て，国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

〔小学校 3年生及び小学校 4年生〕

- 地域の産業や消費生活の様子，人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動について理解できるようにし，地域社会の一員としての自覚をもつ。
- 地域の地理的環境，人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにし，地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする。
- 地域における社会的事象を観察，調査するとともに，地図や各種の具体的資料を効果的に活用し，地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力，調べたことや考えたことを表現する力を育てる。

〔小学校 5年生〕

- 我が国の国土の様子，国土の環境と国民生活との関連について理解できるようにし，環境の保全や自然災害の防止の重要性について関心を深め，国土に対する愛情を育てる。
- 我が国の産業の様子，産業と国民生活との関連について理解できるようにし，我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもち。
- 社会的事象を具体的に調査するとともに，地図や地球儀，統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し，社会的事象の意味について考える力，調べたことや考えたことを表現する力を育てる。

〔小学校 6年生〕

- 国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心と理解を深めるようにするとともに，我が国の歴史や伝統を大切にし，国を愛する心情を育てる。
- 日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方及び我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解できるようにし，平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できる。
- 社会的事象を具体的に調査するとともに，地図や地球儀，年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し，社会的事象の意味をより広い視野から考える力，調べたことや考えたことを表現する力を育てる。

中学校目標（身に付けること）

〔中学校〕

広い視野に立って，社会に対する関心を高め，諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し，我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め，公民としての基礎的教養を培い，国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

〔中学校〕 〔地理的分野〕

- 日本や世界の地理的事象に対する関心を高め，広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させ，地理的な見方や考え方の基礎を培い，我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う。
- 日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとのかわりとりえ，それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し，地域的特色や地域の課題をとらえさせる。
- 大小様々な地域から成り立っている日本や世界の諸地域を比較し関連付けて考察し，それらの地域は相互に関係し合っていることや各地域の特色には地方的特殊性と一般的共通性があること，また，それらは諸条件の変化などに伴って変容していることを理解させる。
- 地域調査など具体的な活動を通して，地理的事象に対する関心を高め，様々な資料を適切に選択，活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。

〔中学校〕 〔歴史的分野〕

- 歴史的事象に対する関心を高め，我が国の歴史の大きな流れを，世界の歴史を背景に，各時代の特色を踏まえて理解させ，それを通して我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに，我が国の歴史に対する愛情を深め，国民としての自覚を育てる。
- 国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を，その時代や地域との関連において理解させ，尊重する態度を育てる。
- 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ，我が国と諸外国の歴史や文化が，相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに，他民族の文化，生活などに関心をもたせ，国際協調の精神を養う。
- 身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高め，様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

〔中学校〕 〔公民的分野〕

- 個人の尊厳と人権の尊重の意義，特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ，民主主義に関する理解を深めるとともに，

国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う。

- 民主政治の意義，国民の生活の向上と経済活動とのかかわり及び現代の社会生活などについて，個人と社会とのかかわりを中心に理解を深め，現代社会についての見方や考え方の基礎を養うとともに，社会の諸問題に着目させ，自ら考えようとする態度を育てる。
- 国際的な相互依存関係の深まりの中で，世界平和の実現と人類の福祉の増大のために，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことが重要であることを認識させるとともに，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることが大切であることを自覚させる。
- 現代の社会的事象に対する関心を高め，様々な資料を適切に収集，選択して多面的・多角的に考察し，事実を正確にとらえ，公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

指導内容 小学校

〔小学校 3年生及び小学校 4年生〕

- 自分たちの住んでいる身近な地域や市（区，町，村）について，次のことを観察，調査したり白地図にまとめたりして調べ，地域の様子は場所によって違いがあることを考える。
方位や主な地図記号について扱う。
- 身近な地域や市（区，町，村）の特色ある地形，土地利用の様子，主な公共施設などの場所と働き，交通の様子，古くから残る建造物など
- 地域の人々の生産や販売について，次のことを見学したり調査したりして調べ，それらの仕事に携わっている人々の工夫を考える。
- 地域には生産や販売に関する仕事があり，それらは自分たちの生活を支えている。
- 地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域などとのかかわり
「生産」については，農家，工場などの中から選択して取り上げる。
「販売」については，商店を取り上げ，販売者の側の工夫を消費者の側の工夫と関連付けて扱う。
「国内の他地域など」については，外国とのかかわりにも気付くよう配慮する。
- 地域の人々の生活にとって必要な飲料水，電気，ガスの確保や廃棄物の処理について，次のことを見学，調査したり資料を活用したりして調べ，これらの対策や事業は地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを考える。
- 飲料水，電気，ガスの確保や廃棄物の処理と自分たちの生活や産業とのかかわり
- これらの対策や事業は計画的，協力的に進められている。
「飲料水，電気，ガス」については，それらの中から選択して取り上げ，節水や節電などの資源の有効な利用についても扱う。
「廃棄物の処理」については，ごみ，下水のいずれかを選択して取り上げ，廃棄物を資源として活用していることについても扱う。
- 地域社会における災害及び事故の防止について，次のことを見学，調査したり資料を活用したりして調べ，人々の安全を守るための関係機関の働

きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を考える。

- 関係機関は地域の人々と協力して、災害や事故の防止に努めている。
- 関係の諸機関が相互に連携して、緊急に対処する体制をとっている。

「災害」については、火災、風水害、地震などの中から選択して取り上げ、「事故の防止」については、交通事故などの事故防止や防犯を取り上げる。

地域の社会生活を営む上で大切な法やきまりについて扱う。

- 地域の人々の生活について、次のことを見学、調査したり年表にまとめたりして調べ、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考える。

開発、教育、文化、産業などの地域の発展に尽くした先人の中から選択して取り上げる。

- 古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子

- 地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事

- 地域の発展に尽くした先人の具体的事例

自然環境、伝統や文化などの地域の資源を保護・活用している地域を取り上げる。

伝統的な工業などの地場産業の盛んな地域を含める。

- 県（都，道，府）の様子について、次のことを資料を活用したり白地図にまとめたりして調べ、県（都，道，府）の特色を考える。

- 県（都，道，府）内における自分たちの市（区，町，村）及び我が国における自分たちの県（都，道，府）の地理的位置、47 都道府県の名称と位置

- 県（都，道，府）全体の地形や主な産業の概要、交通網の様子や主な都市の位置

- 県（都，道，府）内の特色ある地域の人々の生活

- 人々の生活や産業と国内の他地域や外国とのかかわり

我が国や外国には国旗があることを理解させ、それを尊重する態度を育てよう配慮する。

〔小学校 5 年生〕

- 我が国の国土の自然などの様子について、次のことを地図や地球儀、資料などを活用して調べ、国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考える。

我が国や諸外国には国旗があることを理解するとともに、それを尊重する態度を育てよう配慮する。

- 世界の主な大陸と海洋、主な国の名称と位置、我が国の位置と領土

「主な国」については、近隣の諸国を含めて取り上げる。

- 国土の地形や気候の概要、自然条件から見て特色ある地域の人々の生活

「自然条件から見て特色ある地域」については、事例地を選択して取り上げ、自然環境に適応しながら生活している人々の工夫を具体的に扱う。

- 公害から国民の健康や生活環境を守ることの大切さ

大気汚染、水質汚濁などの中から具体例を選択して取り上げる。

- 国土の保全などのための森林資源の働き及び自然災害の防止

我が国の国土保全等の観点から扱うようにし、森林資源の育成や保護

に従事している人々の工夫や努力及び環境保全のための国民一人一人の協力の必要性に気付くよう配慮する。

- 我が国の農業や水産業について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深いかわりをもって営まれていることを考える。

農業や水産業の盛んな地域の具体的事例を通して調べることとし、稲作のほか、野菜、果物、畜産物、水産物などの生産の中から一つを取り上げる。

- 様々な食料生産が国民の食生活を支えていること、食料の中には外国から輸入しているものがある。
- 我が国の主な食料生産物の分布や土地利用の特色など
- 食料生産に従事している人々の工夫や努力、生産地と消費地を結ぶ運輸などの働き
- 我が国の工業生産について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考える。

工業の盛んな地域の具体的事例を通して調べることとし、金属工業、機械工業、石油化学工業、食料品工業などの中から一つを取り上げる。

- 様々な工業製品が国民生活を支えている。
- 我が国の各種の工業生産や工業地域の分布など
- 工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸などの働き

価格や費用、交通網について取り扱う。

- 我が国の情報産業や情報化した社会の様子について、次のことを調査したり資料を活用したりして調べ、情報化の進展は国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効な活用が大切であることを考える。

- 放送、新聞などの産業と国民生活とのかかわり

放送、新聞などの中から選択して取り上げる。

- 情報化した社会の様子と国民生活とのかかわり

情報ネットワークを有効に活用して公共サービスの向上に努めている教育、福祉、医療、防災などの中から選択して取り上げる。

〔小学校 6年生〕

- 我が国の歴史上の主な事象について、人物の働きや代表的な文化遺産を中心に遺跡や文化財、資料などを活用して調べ、歴史を学ぶ意味を考えるとともに、自分たちの生活の歴史的背景、我が国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深める。

児童の興味・関心を重視し、取り上げる人物や文化遺産の重点の置き方に工夫を加えるなど、精選して具体的に理解できる。

歴史学習全体を通して、我が国は長い歴史をもち伝統や文化をはぐくんできたこと、我が国の歴史は政治の中心地や世の中の様子などによって幾つかの時期に分けられることに気付く。

- 狩猟・採集や農耕の生活、古墳について調べ、大和朝廷による国土の統一の様子が分かる。その際、神話・伝承を調べ、国の形成に関する考え方などに関心をもつ。

「神話・伝承」については、古事記、日本書紀、風土記などの中から適切なものを取り上げる。

- 大陸文化の摂取，大化の改新，大仏造営の様子，貴族の生活について調べ，天皇を中心とした政治が確立されたことや日本風の文化が起こったことが分かる。
- 源平の戦い，鎌倉幕府の始まり，元との戦いについて調べ，武士による政治が始まったことが分かる。
- 京都の室町に幕府が置かれたころの代表的な建造物や絵画について調べ，室町文化が生まれたことが分かる。
- キリスト教の伝来，織田・豊臣の天下統一，江戸幕府の始まり，参勤交代，鎖国について調べ，戦国の世が統一され，身分制度が確立し武士による政治が安定したことが分かる。
- 歌舞伎や浮世絵，国学や蘭学について調べ，町人の文化が栄え新しい学問が起こったことが分かる。
- 黒船の来航，明治維新，文明開化などについて調べ，廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い，欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことが分かる。
- 大日本帝国憲法の発布，日清・日露の戦争，条約改正，科学の発展などについて調べ，我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことが分かる。
- 日華事変，我が国にかかわる第二次世界大戦，日本国憲法の制定，オリンピックの開催などについて調べ，戦後我が国は民主的な国家として出発し，国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かる。

次に掲げる人物を取り上げ，人物の働きを通して学習する。

(人物)

卑弥呼，聖徳太子，小野妹子，中大兄皇子，中臣鎌足，聖武天皇，行基，鑑真，藤原道長，紫式部，清少納言，平清盛，源頼朝，源義経，北条時宗，足利義満，足利義政，雪舟，ザビエル，織田信長，豊臣秀吉，徳川家康，徳川家光，近松門左衛門，歌川（安藤）広重，本居宣長，杉田玄白，伊能忠敬，ペリー，勝海舟，西郷隆盛，大久保利通，木戸孝允，明治天皇，福沢諭吉，大隈重信，板垣退助，伊藤博文，陸奥宗光，東郷平八郎，小村寿太郎，野口英世

国宝，重要文化財に指定されているものや，そのうち世界文化遺産に登録されているものなどを取り上げ，我が国の代表的な文化遺産を通して学習できるように配慮する。

- 我が国の政治の働きについて，次のことを調査したり資料を活用したりして調べ，国民主権と関連付けて政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていること，現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを考える。

政治の働きと国民生活との関係を具体的に指導する際には，各々の国民の祝日に関心をもち，その意義を考えさせるよう配慮する。

- 国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映している。

国会などの議会政治や選挙の意味，国会と内閣と裁判所の三権相互の関連，国民の司法参加，租税の役割などについても扱う。

「地方公共団体や国の政治の働き」については，社会保障，災害復旧の取組，地域の開発などの中から選択して取り上げ，具体的に調べる。

- 日本国憲法は、国家の理想，天皇の地位，国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めている。
「天皇の地位」については、日本国憲法に定める天皇の国事に関する行為など児童に理解しやすい具体的な事項を取り上げ、歴史に関する学習との関連も図りながら、天皇についての理解と敬愛の念を深める。
「国民としての権利及び義務」については、参政権，納税の義務などを取り上げる。
- 世界の中の日本の役割について、次のことを調査したり地図や地球儀，資料などを活用したりして調べ、外国の人々と共に生きていくためには異なる文化や習慣を理解し合うことが大切であること，世界平和の大切さと我が国が世界において重要な役割を果たしていることを考える。
- 我が国と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活の様子
- 我が国の国際交流や国際協力の様子及び平和な国際社会の実現に努力している国際連合の働き
我が国とつながりが深い国から数か国を取り上げる。
それらの中から児童が一か国を選択して調べるよう配慮し，様々な外国の文化を具体的に理解できるようにするとともに，我が国や諸外国の伝統や文化を尊重しようとする態度を養う。
「国際交流」についてはスポーツ，文化の中から，「国際協力」については教育，医学，農業などの分野で世界に貢献している事例の中から，選択して取り上げ，国際社会における我が国の役割を具体的に考える。
「国際連合の働き」については，網羅的，抽象的な扱いにならないよう，ユニセフやユネスコの身近な活動を取り上げて具体的に調べる。
我が国の国旗と国歌の意義を理解させ，これを尊重する態度を育てるとともに，諸外国の国旗と国歌も同様に尊重する態度を育てるよう配慮する。

指導内容 中学校

〔地理的分野〕

【世界の様々な地域・世界の地域構成】

- 地球儀や世界地図を活用し，緯度と経度，大陸と海洋の分布，主な国々の名称と位置，地域区分などを取り上げ，世界の地域構成を大観させる。
学習全体を通して，大まかに世界地図を描ける。
- 世界各地の人々の生活と環境
- 世界各地における人々の生活の様子とその変容について，自然及び社会的条件と関連付けて考察させ，世界の人々の生活や環境の多様性を理解させる。
世界各地の人々の生活の様子を考察するに当たって，衣食住の特色や，生活と宗教とのかかわりなどに着目させる。その際，世界の主な宗教の分布について理解させる。

【世界の諸地域】

世界の諸地域について，各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ，それを基に主題を設けて，それぞれの州の地域的特色を理解させる。

アジア

ヨーロッパ

アフリカ

北アメリカ

南アメリカ

オセアニア

州ごとに様々な面から地域的特色を大観させ、その上で主題を設けて地域的特色を理解させる。その際、主題については、州の地域的特色が明確となり、かつ我が国の国土の認識を深める上で効果的であるという観点から設定する。また、州ごとに異なるものとなる。

【世界の様々な地域の調査】

世界の諸地域に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、様々な地域又は国の地域的特色をとらえる適切な主題を設けて追究し、世界の地理的認識を深めさせるとともに、世界の様々な地域又は国の調査を行う際の視点や方法を身に付けさせる。

様々な資料を的確に読み取ったり、地図を有効に活用して事象を説明したりするなどの作業的な学習活動を取り入れる。

自分の解釈を加えて論述したり、意見交換したりするなどの学習活動を充実させる。

【日本の様々な地域・日本の地域構成】

地球儀や地図を活用し、我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、地域区分などを取り上げ、日本の地域構成を大観させる。

【世界と比べた日本の地域的特色】

世界的視野や日本全体の視野から見た日本の地域的特色を取り上げ、我が国の国土の特色を様々な面から大観させる。

○ 自然環境

世界的視野から日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色を理解させるとともに、国内の地形や気候の特色、自然災害と防災への努力を取り上げ、日本の自然環境に関する特色を大観させる。

○ 人口

世界的視野から日本の人口と人口密度、少子高齢化の課題を理解させるとともに、国内の人口分布、過疎・過密問題を取り上げ、日本の人口に関する特色を大観させる。

○ 資源・エネルギーと産業

世界的視野から日本の資源・エネルギーの消費の現状を理解させるとともに、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題を取り上げ、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を大観させる。

○ 地域間の結び付き

世界的視野から日本と世界との交通・通信網の発達の様子や物流を理解させるとともに、国内の交通・通信網の整備状況を取り上げ、日本と世界の結び付きや国内各地の結び付きの特色を大観させる。

【日本の諸地域】

日本を幾つかの地域に区分し、それぞれの地域について、地域的特色をとらえさせる。

○ 自然環境を中核とした考察

地域の地形や気候などの自然環境に関する特色ある事象を中核として、それを人々の生活や産業などと関連付け、自然環境が地域の人々の生活や産業などと深い関係をもっていることや、地域の自然災害に応じた防災対策が大切であることなどについて考える。

○ 歴史的背景を中核とした考察

地域の産業，文化の歴史的背景や開発の歴史に関する特色ある事柄を中核として，それを国内外の他地域との結び付きや自然環境などと関連付け，地域の地理的事象の形成や特色に歴史的背景がかかわっていることなどについて考える。

○ 産業を中核とした考察

地域の農業や工業などの産業に関する特色ある事象を中核として，それを成立させている地理的諸条件と関連付け，地域に果たす産業の役割やその動向は他の事象との関連で変化するものであることなどについて考える。

環境問題や環境保全を中核とした考察

地域の環境問題や環境保全の取組を中核として，それを産業や地域開発の動向，人々の生活などと関連付け，持続可能な社会の構築のためには地域における環境保全の取組が大切であることなどについて考える。

人口や都市・村落を中核とした考察

地域の人口の分布や動態，都市・村落の立地や機能に関する特色ある事象を中核として，それを人々の生活や産業などと関連付け，過疎・過密問題の解決が地域の課題となっていることなどについて考える。

○ 生活・文化を中核とした考察

地域の伝統的な生活・文化に関する特色ある事象を中核として，それを自然環境や歴史的背景，他地域との交流などと関連付け，近年の都市化や国際化によって地域の伝統的な生活・文化が変容していることなどについて考える。

○ 他地域との結び付きを中核とした考察

地域の交通・通信網に関する特色ある事象を中核として，それを物資や人々の移動の特色や変化などと関連付け，世界や日本の他の地域との結び付きの影響を受けながら地域は変容していることなどについて考える。

身近な地域の調査

身近な地域における諸事象を取り上げ，観察や調査などの活動を行い，生徒が生活している土地に対する理解と関心を深めて地域の課題を見だし，地域社会の形成に参画しその発展に努力しようとする態度を養うとともに，市町村規模の地域の調査を行う際の視点や方法，地理的なまとめ方や発表の方法の基礎を身に付けさせる。

〔歴史的分野〕

【歴史のとらえ方】

- 我が国の歴史上の人物や出来事などについて調べたり考えたりするなどの活動を通して，時代の区分やその移り変わりに気付かせ，歴史を学ぶ意欲を高めるとともに，年代の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解させる。
- 身近な地域の歴史を調べる活動を通して，地域の具体的な事柄とのかかわりの中で我が国の歴史を理解させるとともに，受け継がれてきた伝統や文化への関心を高め，歴史の学び方を身に付けさせる。
- 学習した内容を活用してその時代を大観し表現する活動を通して，各時代の特色をとらえさせる。

【古代までの日本】

- 世界の古代文明や宗教のおこり，日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰，大和朝廷による統一と東アジアとのかわりなどを通して，世界の各地で文明が築かれ，東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解させる。
- 律令国家の確立に至るまでの過程，摂関政治などを通して，大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ，その後，天皇や貴族の政治が展開したことを理解させる。
- 仏教の伝来とその影響，仮名文字の成立などを通して，国際的な要素をもった文化が栄え，後に文化の国風化が進んだことを理解させる。

【中世の日本】

- 鎌倉幕府の成立，南北朝の争乱と室町幕府，東アジアの国際関係，応仁の乱後の社会的な変動などを通して，武家政治の特色を考えさせ，武士が台頭して武家政権が成立し，その支配が次第に全国に広まるとともに，東アジア世界との密接なかわりがみられたことを理解させる。
- 農業など諸産業の発達，畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立，禅宗の文化的な影響などを通して，武家政治の展開や民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解させる。

【近世の日本】

- 戦国の動乱，ヨーロッパ人来航の背景とその影響，織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係，武将や豪商などの生活文化の展開などを通して，近世社会の基礎がつくられていったことを理解させる。
- 江戸幕府の成立と大名統制，鎖国政策，身分制度の確立及び農村の様子，鎖国下の対外関係などを通して，江戸幕府の政治の特色を考えさせ，幕府と藩による支配が確立したことを理解させる。
- 産業や交通の発達，教育の普及と文化の広がりなどを通して，町人文化が都市を中心に形成されたことや，各地方の生活文化が生まれたことを理解させる。
- 社会の変動や欧米諸国の接近，幕府の政治改革，新しい学問・思想の動きなどを通して，幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解させる。

【近代の日本と世界】

- 欧米諸国における市民革命や産業革命，アジア諸国の動きなどを通して，欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。
- 開国とその影響，富国強兵・殖産興業政策，文明開化などを通して，新政府による改革の特色を考えさせ，明治維新によって近代国家の基礎が整えられて，人々の生活が大きく変化したことを理解させる。
- 自由民権運動，大日本帝国憲法の制定，日清・日露戦争，条約改正などを通して，立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに，我が国の国際的地位が向上したことを理解させる。
- 我が国の産業革命，この時期の国民生活の変化，学問・教育・科学・芸術の発展などを通して，我が国で近代産業が発展し，近代文化が形成されたことを理解させる。

- 第一次世界大戦の背景とその影響，民族運動の高まりと国際協調の動き，我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを通して，第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと，大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解させる。
- 経済の世界的な混乱と社会問題の発生，昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き，中国などアジア諸国との関係，欧米諸国の動き，戦時下の国民の生活などを通して，軍部の台頭から戦争までの経過と，大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解させる。

【現代の日本と世界】

- 冷戦我が国の民主化と再建の過程，国際社会への復帰などを通して，第二次世界大戦後の諸改革の特色を考えさせ，世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解させる。
- 高度経済成長，国際社会とのかかわり，冷戦の終結などを通して，我が国の経済や科学技術が急速に発展して国民の生活が向上し，国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解させる。

〔 公民的分野 〕

【私たちと現代社会】

- 私たちが生きる現代社会と文化
現代日本の特色として少子高齢化，情報化，グローバル化などがみられることを理解させるとともに，それらが政治，経済，国際関係に影響を与えていることに気付かせる。また，現代社会における文化の意義や影響を理解させるとともに，我が国の伝統と文化に関心をもたせ，文化の継承と創造の意義に気付かせる。
- 現代社会をとらえる見方や考え方
人間は本来社会的存在であることに着目させ，社会生活における物事の決定の仕方，きまりの意義について考えさせ，現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として，対立と合意，効率と公正などについて理解させる。その際，個人の尊厳と両性の本質的平等，契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任などに気付かせる。

【私たちと経済】

- 市場の働きと経済
身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させるとともに，価格の働きに着目させて市場経済の基本的な考え方について理解させる。また，現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解させるとともに，社会における企業の役割と責任について考えさせる。その際，社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について，勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の問題と関連付けて考えさせる。
- 国民の生活と政府の役割
国民の生活と福祉の向上を図るために，社会資本の整備，公害の防止など環境の保全，社会保障の充実，消費者の保護など，市場の働きにゆだねることが難しい諸問題に関して，国や地方公共団体が果たしている役割について考えさせる。また，財源の確保と配分という観点から財政の役割について考えさせる。その際，租税の意義と役割について考えさせるとともに，国民の

納税の義務について理解させる。

【私たちと政治】

○ 人間の尊重と日本国憲法の基本的原則

人間の尊重についての考え方を，基本的人権を中心に深めさせ，法の意義を理解させるとともに，民主的な社会生活を営むためには，法に基づく政治が大切であることを理解させ，我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について考えさせる。また，日本国憲法が基本的人権の尊重，国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについての理解を深め，日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解させる。

○ 民主政治と政治参加

地方自治の基本的な考え方について理解させる。その際，地方公共団体の政治の仕組みについて理解させるとともに，住民の権利や義務に関連させて，地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識の基礎を育てる。また，国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解させ，議会制民主主義の意義について考えさせるとともに，多数決の原理とその運用の在り方について理解を深めさせる。さらに，国民の権利を守り，社会の秩序を維持するために，法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解させるとともに，民主政治の推進と，公正な世論の形成や国民の政治参加との関連について考えさせる。その際，選挙の意義について考えさせる。

【私たちと国際社会の諸課題】

○ 世界平和と人類の福祉の増大

世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには，国際協調の観点から，国家間の相互の主権の尊重と協力，各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを認識させ，国際社会における我が国の役割について考えさせる。その際，日本国憲法の平和主義について理解を深め，我が国の安全と防衛及び国際貢献について考えさせるとともに，核兵器などの脅威に着目させ，戦争を防止し，世界平和を確立するための熱意と協力の態度を育てる。また，地球環境，資源・エネルギー，貧困などの課題の解決のために経済的，技術的な協力などが大切であることを理解させる。

○ よりよい社会を目指して持続可能な社会を形成するという観点から，私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を探究させ，自分の考えをまとめさせる。

小学校 生活科

目 標（身に付けること）

具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々，社会及び自然とのかかわりに関心をもち，自分自身や自分の生活について考えさせるとともに，その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ，自立への基礎を養う。

〔小学校 1年生及び小学校 2年生〕

- 自分と身近な人々及び地域の様々な場所，公共物などのかかわりに関心をもち，地域のよさに気付き，愛着をもつことができるようにするとともに，集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え，安全で適切な行動ができる。
- 自分と身近な動物や植物などの自然とのかかわりに関心をもち，自然のすばらしさに気付き，自然を大切にしたり，自分たちの遊びや生活を工夫したりする。
- 身近な人々，社会及び自然とのかかわりを深めることを通して，自分のよさや可能性に気付き，意欲と自信をもって生活する。
- 身近な人々，社会及び自然に関する活動の楽しさを味わうとともに，それらを通して気付いたことや楽しかったことなどについて，言葉，絵，動作，劇化などの方法により表現し，考える。

指導内容

- 学校の施設の様子及び先生など学校生活を支えている人々や友達のことが分かり，楽しく安心して遊びや生活ができるようにするとともに，通学路の様子やその安全を守っている人々などに関心をもち，安全な登下校ができる。
- 家庭生活を支えている家族のことや自分でできることなどについて考え自分の役割を積極的に果たすとともに，規則正しく健康に気を付けて生活する。
- 自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所とかかわっていることが分かり，それらに親しみや愛着をもち，人々と適切に接することや安全に生活する。
- 公共物や公共施設を利用し，身の回りにはみんなで使うものがあることやそれを支えている人々がいることなどが分かり，それらを大切に，安全に気を付けて正しく利用する。
- 身近な自然を観察したり，季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどして，四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心を持ち，自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできる。
- 身近な自然を利用したり，身近にある物を使ったりなどして，遊びや遊びに使う物を工夫してつくり，その面白さや自然の不思議さに気付き，みんな遊びを楽しむ。
- 動物を飼ったり植物を育てたりして，それらの育つ場所，変化や成長の

様子に関心をもち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気付き、生き物への親しみをもち、大切にする。

- 自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行い、身近な人々とかかわることの楽しさが分かり、進んで交流する。
- 自分自身の成長を振り返り、多くの人々の支えにより自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かり、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつとともにこれからの成長への願いをもって、意欲的に生活する。

小学校 体育

目 標（身に付けること）

心と体を一体としてとらえ，適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して，生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上を図り，楽しく明るい生活を営む態度を育てる。

〔小学校 1年生及び小学校 2年生〕

- 簡単なきまりや活動を工夫して各種の運動を楽しむことができるとともに，その基本的な動きを身に付け，体力を養う。
- だれとでも仲よくし，健康・安全に留意して意欲的に運動をする態度を育てる。

〔小学校 3年生及び小学校 4年生〕

- 活動を工夫して各種の運動を楽しむことができるとともに，その基本的な動きや技能を身に付け，体力を養う。
- 協力，公正などの態度を育てるとともに，健康・安全に留意し，最後まで努力して運動をする態度を育てる。
- 健康な生活及び体の発育・発達について理解できるようにし，身近な生活において健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。

〔小学校 5年生及び小学校 6年生〕

- 活動を工夫して各種の運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに，その特性に応じた基本的な技能を身に付け，体力を高める。
- 協力，公正などの態度を育てるとともに，健康・安全に留意し，自己の最善を尽くして運動をする態度を育てる。
- 心の健康，けがの防止及び病気の予防について理解できるようにし，健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。

指導内容

〔小学校 1年生及び小学校 2年生〕 A 体づくり運動

- 体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、体の基本的な動きができる。
- 体ほぐしの運動では、心と体の変化に気付いたり、体の調子を整えたり、みんなでかかわり合ったりするための手軽な運動や律動的な運動をする。
- 多様な動きをつくる運動遊びでは、体のバランスをとったり移動をしたりするとともに、用具の操作などをする。
- 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりする。
- 体づくりのための簡単な運動の行い方を工夫できる。

〔小学校 3年生及び小学校 4年生〕 A 体づくり運動

- 体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、体の基本的な動きができる。
- 体ほぐしの運動では、心と体の変化に気付いたり、体の調子を整えたり、みんなでかかわり合ったりするための手軽な運動や律動的な運動をする。
- 多様な動きをつくる運動では、体のバランスや移動、用具の操作などとともに、それらを組み合わせる。
- 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、場や用具の安全に気を付けたりする。
- 体づくりのための運動の行い方を工夫できる。

〔小学校 5年生及び小学校 6年生〕 A 体づくり運動

- 体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、体力を高める。
- 体ほぐしの運動では、心と体の関係に気付いたり、体の調子を整えたり、仲間と交流したりするための手軽な運動や律動的な運動をする。
- 体力を高める運動では、ねらいに応じて、体の柔らかさ及び巧みな動きを高めるための運動、力強い動き及び動きを持続する能力を高めるための運動をする。
- 運動に進んで取り組み、助け合って運動をしたり、場や用具の安全に気を配ったりする。
- 自己の体の状態や体力に応じて、運動の行い方を工夫できる。

〔小学校 1年生及び小学校 2年生〕 B 器械・器具を使つての運動遊び

- 次の運動を楽しく行い、その動きができる。
- 固定施設を使った運動遊びでは、登り下りや懸垂移行、渡り歩きや跳び下りをする。
- マットを使った運動遊びでは、いろいろな方向への転がり、手で支えての体の保持や回転をする。
- 鉄棒を使った運動遊びでは、支持しての上がり下り、ぶら下がりや易し

い回転をする。

- 跳び箱を使った運動遊びでは，跳び乗りや跳び下り，手を着いてのまたぎ乗りや跳び乗りをする。
- 運動に進んで取り組み，きまりを守り仲よく運動をしたり，場の安全に気を付けたりする。
- 器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫できる。

〔小学校 3 年生及び小学校 4 年生〕 B 器械運動

- 次の運動の楽しさや喜びに触れ，その技ができる。
- マット運動では，基本的な回転技や倒立技をする。
- 鉄棒運動では，基本的な上がり技や支持回転技，下り技をする。
- 跳び箱運動では，基本的な支持跳び越し技をする。
- 運動に進んで取り組み，きまりを守り仲よく運動をしたり，場や器械・器具の安全に気を付けたりする。
- 自己の能力に適した課題をもち，技ができるための活動を工夫できる。

〔小学校 5 年生及び小学校 6 年生〕 B 器械運動

- 運動の楽しさや喜びに触れ，その技ができる。
- マット運動では，基本的な回転技や倒立技を安定して行うとともに，その発展技を行ったり，それらを繰り返したり組み合わせたりする。
- 鉄棒運動では，基本的な上がり技や支持回転技，下り技を安定して行うとともに，その発展技を行ったり，繰り返したり組み合わせたりする。
- 跳び箱運動では，基本的な支持跳び越し技を安定して行うとともに，発展技を行う。
- 運動に進んで取り組み，約束を守り助け合って運動をしたり，場や器械・器具の安全に気を配ったりする。
- 自己の能力に適した課題の解決の仕方や技の組み合わせ方を工夫できる。

〔小学校 1 年生及び小学校 2 年生〕 C 走・跳の運動遊び

- 運動を楽しく行い，その動きができる。
- 走の運動遊びでは，いろいろな方向に走ったり，低い障害物を走り越えたりする。
- 跳の運動遊びでは，前方や上方に跳んだり，連続して跳んだりする。
- 運動に進んで取り組み，きまりを守り仲よく運動をしたり，勝敗を受け入れたり，場の安全に気を付けたりする。
- 走ったり跳んだりする簡単な遊び方を工夫できる。

〔小学校 3 年生及び小学校 4 年生〕 C 走・跳の運動

- 運動を楽しく行い，その動きができる。
- かけっこ・リレーでは，調子よく走る。
- 小型ハードル走では，小型ハードルを調子よく走り越える。

- 幅跳びでは，短い助走から踏み切って跳ぶ。
- 高跳びでは，短い助走から踏み切って跳ぶ。
- 運動に進んで取り組み，きまりを守り仲よく運動をしたり，勝敗を受け入れたり，場や用具の安全に気を付けたりする。
- 自己の能力に適した課題をもち，動きを身に付けるための活動や競争の仕方を工夫できる。

〔小学校 ５年生及び小学校 ６年生〕 C 陸上運動

- 運動の楽しさや喜びに触れ，その技能を身に付ける。
- 短距離走・リレーでは，一定の距離を全力で走る。
- ハードル走では，ハードルをリズムカルに走り越える。
- 走り幅跳びでは，リズムカルな助走から踏み切って跳ぶ。
- 走り高跳びでは，リズムカルな助走から踏み切って跳ぶ。
- 運動に進んで取り組み，約束を守り助け合って運動をしたり，場や用具の安全に気を配ったりする。
- 自己の能力に適した課題の解決の仕方，競争や記録への挑戦の仕方を工夫できる。

〔小学校 １年生及び小学校 ２年生〕 D 水遊び

- 運動を楽しく行い，その動きができる。
- 水に慣れる遊びでは，水につかったり移動したりする。
- 水に浮いたりもぐったり，水中で息を吐いたりする。
- 運動に進んで取り組み，仲よく運動をしたり，水遊びの心得を守って安全に気を付けたりする。
- 水中での簡単な遊び方を工夫できる。

〔小学校 ３年生及び小学校 ４年生〕 D 浮く・泳ぐ運動

- 運動を楽しく行い，その動きができる。
- 浮く運動では，いろいろな浮き方やけ伸びをする。
- 泳ぐ運動では，補助具を使つてのキックやストローク，呼吸をしながらの初歩的な泳ぎをする。
- 運動に進んで取り組み，仲よく運動をしたり，浮く・泳ぐ運動の心得を守って安全に気を付けたりする。
- 自己の能力に適した課題をもち，動きを身に付けるための活動を工夫できる。

〔小学校 ５年生及び小学校 ６年生〕 D 水 泳

- 運動の楽しさや喜びに触れ，その技能を身に付けることができる。
- クロールでは，続けて長く泳ぐ。
- 平泳ぎでは，続けて長く泳ぐ。
- 運動に進んで取り組み，助け合って水泳をしたり，水泳の心得を守って

安全に気を配ったりする。

- 自己の能力に適した課題解決の仕方や記録への挑戦の仕方を工夫できる

〔小学校 1年生及び小学校 2年生〕 E ゲーム

- 運動を楽しく行い，その動きができる。
- ボールゲームでは，簡単なボール操作やボールを持たないときの動きによって，的に当てるゲームや攻めと守りのあるゲームをする。
- 鬼遊びでは，一定の区域で，逃げる，追いかける，陣地を取り合うなどをする。
- 運動に進んで取り組み，きまりを守り仲よく運動をしたり，勝敗を受け入れたり，場の安全に気を付けたりする。
- 簡単な規則を工夫したり，攻め方を決めたりする。

〔小学校 3年生及び小学校 4年生〕 E ゲーム

- 運動を楽しく行い，その動きができる。
- ゴール型ゲームでは，基本的なボール操作やボールを持たないときの動きによって，易しいゲームをする。
- ネット型ゲームでは，ラリーを続けたり，ボールをつないだりして易しいゲームをする。
- ベースボール型ゲームでは，蹴る，打つ，捕る，投げるなどの動きによって，易しいゲームをする。
- 運動に進んで取り組み，規則を守り仲よく運動をしたり，勝敗を受け入れたり，場や用具の安全に気を付けたりする。
- 規則を工夫したり，ゲームの型に応じた簡単な作戦を立てたりすることができる。

〔小学校 5年生及び小学校 6年生〕 E ボール運動

- 運動の楽しさや喜びに触れ，その技能を身に付ける。
- ゴール型では，簡易化されたゲームで，ボール操作やボールを受けるための動きによって，攻防をする。
- ネット型では，簡易化されたゲームで，チームの係による攻撃や守備によって，攻防をする。
- ベースボール型では，簡易化されたゲームで，ボールを打ち返す攻撃や隊形をとった守備によって，攻防をする。
- 運動に進んで取り組み，ルールを守り助け合って運動をしたり，場や用具の安全に気を配ったりする。
- ルールを工夫したり，自分のチームの特徴に応じた作戦を立てたりする。

〔小学校 1年生及び小学校 2年生〕 F 表現リズム遊び

- 運動を楽しく行い，題材になりきったりリズムに乗ったりして踊る。
- 表現遊びでは，身近な題材の特徴をとらえ全身で踊る。

- リズム遊びでは，軽快なリズムに乗って踊る。
- 運動に進んで取り組み，だれとでも仲よく踊ったり，場の安全に気を付けたりする。
- 簡単な踊り方を工夫できる。
簡単なフォークダンスを含めて指導する。
歌や運動を伴う伝承遊び及び自然の中での運動遊びを加えて指導する。

〔小学校 3 年生及び小学校 4 年生〕 F 表現運動

- 運動の楽しさや喜びに触れ，表したい感じを表現したりリズムの特徴をとらえたりして踊る。
- 表現では，身近な生活などの題材からその主な特徴をとらえ，対比する動きを組み合わせたり繰り返したりして踊る。
- リズムダンスでは，軽快なリズムに乗って全身で踊る。
- 運動に進んで取り組み，だれとでも仲よく練習や発表をしたり，場の安全に気を付けたりする。
- 自己の能力に適した課題を見付け，練習や発表の仕方を工夫できるようにする。
フォークダンスを加えて指導する。

〔小学校 5 年生及び小学校 6 年生〕 F 表現運動

- 運動の楽しさや喜びに触れ，表したい感じを表現したり踊りの特徴をとらえたりして踊る。
- 表現では，いろいろな題材から表したいイメージをとらえ，即興的な表現や簡単なひとまとまりの表現で踊る。
- フォークダンスでは，踊り方の特徴をとらえ，音楽に合わせて簡単なステップや動きで踊る。
- 運動に進んで取り組み，互いのよさを認め合い助け合って練習や発表をしたり，場の安全に気を配ったりする。
- 自分やグループの課題の解決に向けて，練習や発表の仕方を工夫できる。

〔小学校 3 年生及び小学校 4 年生〕 G 保健

- 健康の大切さを認識するとともに，健康によい生活について理解できる。
- 心や体の調子がよいなどの健康の状態は，主体の要因や周囲の環境の要因がかかわっている。
- 毎日を健康に過ごすには，食事，運動，休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること，また，体の清潔を保つことなどが必要である。
- 毎日を健康に過ごすには，明るさの調節，換気などの生活環境を整えることなどが必要である。
- 体の発育・発達について理解できる。
- 体は，年齢に伴って変化する。
- 体の発育・発達には，個人差がある。
- 体は，思春期になると次第に大人の体に近づき，体つきが変わったり，

初経，精通などが起こったりする。また，異性への関心が芽生える。

- 体をよりよく発育・発達させるには，調和のとれた食事，適切な運動，休養及び睡眠が必要である。

学校でも，健康診断や学校給食など様々な活動が行われていることについて触れる。

自分と他の人では発育・発達などに違いがあることに気付き，それらを肯定的に受け止めることが大切であることについて触れる。

〔小学校 5 年生及び小学校 6 年生〕 G 保 健

- 心の発達及び不安，悩みへの対処について理解できる。
- 心は，いろいろな生活経験を通して，年齢に伴って発達する。
- 心と体は，相互に影響し合う。
- 不安や悩みへの対処には，大人や友達に相談する，仲間と遊ぶ，運動をするなどいろいろな方法がある。
- けがの防止について理解するとともに，けがなどの簡単な手当ができる。
- 交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には周囲の危険に気付くこと，的確な判断の下に安全に行動すること，環境を安全に整えることが必要である。
- けがの簡単な手当は，速々かに行う必要がある。
- 病気の予防について理解できる。
- 病気は，病原体，体の抵抗力，生活行動，環境がかかわり合って起こる。
- 病原体が主な要因となって起こる病気の予防には，病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めることが必要である。
- 生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には，栄養の偏りのない食事をとること，口腔の衛生を保つことなど，望ましい生活習慣を身に付ける必要がある。
- 喫煙，飲酒，薬物乱用などの行為は，健康を損なう原因となる。
- 地域では，保健にかかわる様々な活動が行われている。

有機溶剤の心身への影響を中心に扱う。

覚せい剤等についても触れる。

小学校 図画工作

目 標（身に付けること）

表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

〔小学校 1 年生及び小学校 2 年生〕

- 進んで表したり見たりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わう。
- 造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、体全体の感覚や技能などを働かせる。
- 身の回りの作品などから、面白さや楽しさを感じ取る。

〔小学校 3 年生及び小学校 4 年生〕

- 進んで表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わう。
- 材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、造形的な能力を伸ばす。
- 身近にある作品などから、よさや面白さを感じ取る。

〔小学校 5 年生及び小学校 6 年生〕

- 創造的に表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わう。
- 材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し、主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高める。
- 親しみのある作品などから、よさや美しさを感じ取るとともに、それらを大切にする。

指導内容

〔小学校 1 年生及び小学校 2 年生〕 A 表 現

- 材料を基に造形遊びをする活動を通して、次の事項を指導する。
- 身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に思い付いてつくる。
- 感覚や気持ちを生かしながら楽しくつくる。
- 並べたり、つないだり、積んだりするなど体全体を働かせてつくる。
- 感じたことや想像したことから、表したいことを見付けて表す。
- 好きな色を選んだり、いろいろな形をつくって楽しんだりしながら表す。
- 身近な材料や扱いやすい用具を手を働かせて使うとともに、表し方を考えて表す。

土，粘土，木，紙，クレヨン，パス，はさみ，のり，簡単な小刀類など身近で扱いやすいものを用い，児童がこれらに十分に慣れる。

〔小学校 3 年生及び小学校 4 年生〕 A 表 現

- 身近な材料や場所などを基に発想してつくる。
- 新しい形をつくるとともに，その形から発想したりみんなで話し合ったり考えたりしながらつくる。
- 前学年までの材料や用具についての経験を生かし，組み合わせたり，切ったりつないだり，形を変えたりするなどしてつくる。
- 感じたこと，想像したこと，見たことから，表したいことを見付けて表す。
- 表したいことや用途などを考えながら，形や色，材料などを生かし，計画を立てるなどして表す。
- 表したいことに合わせて，材料や用具の特徴を生かして使うとともに，表し方を考えて表す。

木切れ，板材，釘，水彩絵の具，小刀，使いやすいのこぎり，金づちなどを用い，児童がこれらを適切に扱う。

〔小学校 5 年生及び小学校 6 年生〕 A 表 現

- 材料や場所などの特徴を基に発想し想像力を働かせてつくる。
- 材料や場所などに進んでかかわり合い，それらを基に構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながらつくる。
- 前学年までの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしてつくる。
- 感じたこと，想像したこと，見たこと，伝え合いたいことから，表したいことを見付けて表す。
- 形や色，材料の特徴や構成の美しさなどの感じ，用途などを考えながら，表し方を構想して表す。
- 表したいことに合わせて，材料や用具の特徴を生かして使うとともに，表現に適した方法などを組み合わせて表す。

針金，糸のこぎりなどを用い，児童が表現方法に応じてこれらを活用できる。

〔小学校 1 年生及び小学校 2 年生〕 B 鑑 賞

- 自分たちの作品や身近な材料などを楽しく見る。
- 感じたことを話したり，友人の話を聞いたりするなどして，形や色，表し方の面白さ，材料の感じなどに気付く。

〔小学校 3 年生及び小学校 4 年生〕 B 鑑 賞

- 自分たちの作品や身近な美術作品や製作の過程などを鑑賞して，よさや面白さを感じ取る。

- 感じたことや思ったことを話したり、友人と話し合ったりするなどして、いろいろな表し方や材料による感じの違いなどが分かる。

〔小学校 5 年生及び小学校 6 年生〕 B 鑑 賞

- 自分たちの作品，我が国や諸外国の親しみのある美術作品，暮らしの中の作品などを鑑賞して，よさや美しさを感じ取る。
- 感じたことや思ったことを話したり、友人と話し合ったりするなどして，表し方の変化，表現の意図や特徴などをとらえる。

小学校 音楽

目 標（身に付けること）

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

〔小学校 1年生及び小学校 2年生〕

- 楽しく音楽にかかわり、音楽に対する興味・関心をもち、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- 基礎的な表現の能力を育て、音楽表現の楽しさに気付く。
- 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を育て、音楽を味わって聴く。

〔小学校 3年生及び小学校 4年生〕

- 進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- 基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取る。
- 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽を味わって聴く。

〔小学校 5年生及び小学校 6年生〕

- 創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- 基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わう。
- 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を高め、音楽を味わって聴く。

指導内容

〔小学校 1年生及び小学校 2年生〕 A 表 現

- 範唱を聴いて歌ったり、階名で模唱したり暗唱したりする。
- 歌詞の表中情景や気持ちを想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりし、思いをもって歌う。
- 自分の歌声及び発音に気を付けて歌う。
- 互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う。
- 器楽の活動を通して、次の事項を指導する。
- 範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する。
- 楽曲の気分を感じ取り、思いをもって演奏する。
- 身近な楽器に親しみ、音色に気を付けて簡単なリズムや旋律を演奏する。
- 互いの楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する。

- 声や身の回りの音の面白さに気付いて音遊びをする。
- 音を音楽にしていけることを楽しみながら、音楽の仕組みを生かし、思いをもって簡単な音楽をつくる。
- 主となる歌唱教材については、各学年ともウの共通教材を含めて、斉唱及び輪唱で歌う楽曲
- 主となる器楽教材については、既習の歌唱教材を含めて、主旋律に簡単なリズム伴奏や低声部などを加えた楽曲
- 共通教材

〔小学校 1 年生〕	
「うみ」	「かたつむり」
「日のまる」	「ひらいたひらいた」
〔小学校 2 年生〕	
「かくれんぼ」	「春がきた」
「虫のこえ」	「夕やけこやけ」

小学校 1 年生及び小学校 2 年生で取り上げる身近な楽器は、様々な打楽器、オルガン、ハーモニカなどの中から選択する。

〔小学校 3 年生及び小学校 4 年生〕 A 表現

- 範唱を聴いたり、八長調の楽譜を見たりして歌う。
- 歌詞の内容、曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって歌う。
- 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う。
- 互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う。
- 器楽の活動を通して、次の事項を指導する。
- 範奏を聴いたり、八長調の楽譜を見たりして演奏する。
- 曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって演奏する。
- 音色に気を付けて旋律楽器及び打楽器を演奏する。
- 互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する。
- いろいろな音の響きやその組合せを楽しみ、様々な発想をもって即興的に表現する。
- 音を音楽に構成する過程を大切にしながら、音楽の仕組みを生かし、思いや意図をもって音楽をつくる。
- 主となる歌唱教材については、各学年ともウの共通教材を含めて、斉唱及び簡単な合唱で歌う楽曲
- 主となる器楽教材については、既習の歌唱教材を含めて、簡単な重奏や合奏にした楽曲
- 共通教材

〔小学校 3 年生〕	
「うさぎ」	「茶つみ」
「春の小川」	「ふじ山」
〔小学校 4 年生〕	
「さくらさくら」	「とんび」
「まきばの朝」	「もみじ」

小学校 3 年生及び小学校 4 年生で取り上げる旋律楽器は、既習の楽器を含めて、リコーダーや鍵盤楽器などの中から選択する。

〔小学校 5 年生及び小学校 6 年生〕 A 表 現

- 範唱を聴いたり，八長調及びイ短調の楽譜を見たりして歌う。
- 歌詞の内容，曲想を生かした表現を工夫し，思いや意図をもって歌う。
- 呼吸及び発音の仕方を工夫して，自然で無理のない，響きのある歌い方で歌う。
- 各声部の歌声や全体の響き，伴奏を聴いて，声を合わせて歌う。
- 範奏を聴いたり，八長調及びイ短調の楽譜を見たりして演奏する。
- 曲想を生かした表現を工夫し，思いや意図をもって演奏する。
- 楽器の特徴を生かして旋律楽器及び打楽器を演奏する。
- 各声部の楽器の音や全体の響き，伴奏を聴いて，音を合わせて演奏する。
- 音楽づくりの活動を通して，次の事項を指導する。
- いろいろな音楽表現を生かし，様々な発想をもって即興的に表現する。
- 音を音楽に構成する過程を大切にしながら，音楽の仕組みを生かし，見通しをもって音楽をつくる。
- 主となる歌唱教材については，各学年とも共通教材の中の 3 曲を含めて，斉唱及び合唱で歌う楽曲
- 主となる器楽教材については，楽器の演奏効果を考慮し，簡単な重奏や合奏にした楽曲
- 共通教材
 - 〔小学校 5 年生〕
 - 「こいのぼり」
 - 「スキーの歌」
 - 〔小学校 6 年生〕
 - 「越天楽今様（歌詞は第 2 節まで）」（日本古謡）
 - 「おぼろ月夜」
 - 「われは海の子（歌詞は第 3 節まで）」（文部省唱歌）

小学校 5 年生及び小学校 6 年生で取り上げる旋律楽器は，既習の楽器を含めて，電子楽器，和楽器，諸外国に伝わる楽器などの中から選択する。

〔小学校 1 年生及び小学校 2 年生〕 B 鑑 賞

- 楽曲の気分を感じ取って聴く。
- 音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取って聴く。
- 楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして，楽曲や演奏の楽しさに気付く。
- 鑑賞教材は次に示すものを取り扱う。
- 我が国及び諸外国のわらべうたや遊びうた，行進曲や踊りの音楽など身体反応の快さを感じ取りやすい音楽，日常生活に関連して情景を思い浮かべやすい楽曲
- 音楽を形づくっている要素の働きを感じ取りやすく，親しみやすい楽曲
- 楽器の音色や人の声の特徴を感じ取りやすく親しみやすい，いろいろな演奏形態による楽曲

〔小学校 3年生及び小学校 4年生〕 B 鑑 賞

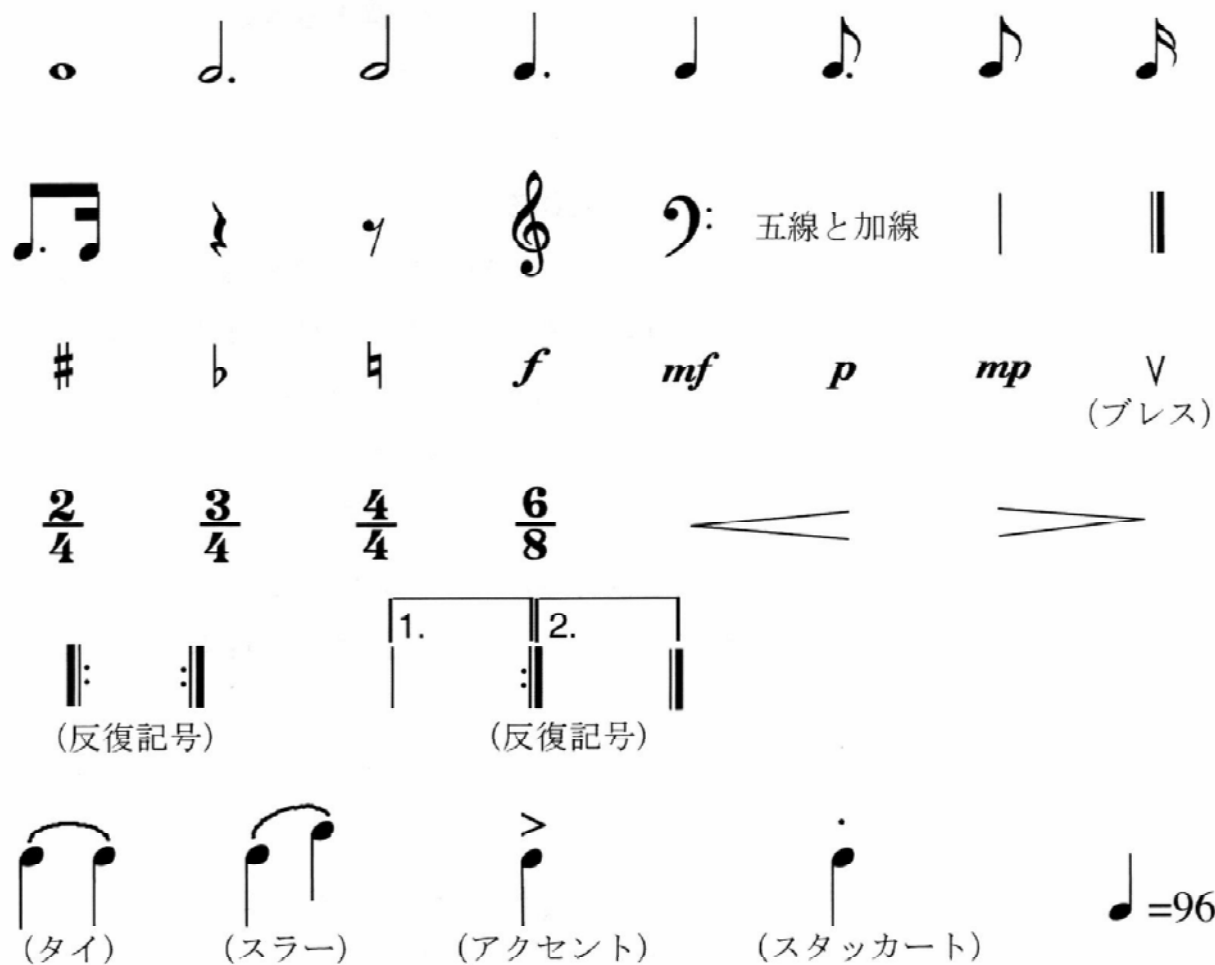
- 曲想とその変化を感じ取って聴く。
- 音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り，楽曲の構造に気を付けて聴く。
- 楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして，楽曲の特徴や演奏のよさに気付く。
- 和楽器の音楽を含めた我が国の音楽，郷土の音楽，諸外国に伝わる民謡など生活とのかかわりを感じ取りやすい音楽，劇の音楽，人々に長く親しまれている音楽など，いろいろな種類の楽曲
- 音楽を形づくっている要素の働きを感じ取りやすく，聴く楽しさを得やすい楽曲
- 楽器や人の声による演奏表現の違いを感じ取りやすい，独奏，重奏，独唱，重唱を含めたいろいろな演奏形態による楽曲

〔小学校 5年生及び小学校 6年生〕 B 鑑 賞

- 鑑賞の活動を通して，次の事項を指導する。
- 曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴く。
- 音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り，楽曲の構造を理解して聴く。
- 楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして，楽曲の特徴や演奏のよさを理解する。
- 和楽器の音楽を含めた我が国の音楽や諸外国の音楽など文化とのかかわりを感じ取りやすい音楽，人々に長く親しまれている音楽など，いろいろな種類の楽曲
- 音楽を形づくっている要素の働きを感じ取りやすく，聴く喜びを深めやすい楽曲
- 楽器の音や人の声が重なり合う響きを味わうことができる，合奏，合唱を含めたいろいろな演奏形態による楽曲

音色，リズム，速度，旋律，強弱，音の重なりや和声の響き，音階や調，
 拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素
 反復，問いと答え，変化，音楽の縦と横の関係などの音楽の仕組み
音符，休符，記号や音楽にかかわる用語について，音楽活動を通して理
 解する。

「音符，休符，記号や音楽にかかわる用語」



小学校 家庭

目 標（身に付けること）

衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるとともに、家庭生活を大切にする心情をはぐくみ、家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。

〔小学校 5年生及び小学校 6年生〕

- 衣食住や家族の生活に関する実践的・体験的な活動を通して、自分の成長を自覚するとともに、家庭生活への関心を高め、その大切さに気付く。
- 日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、身近な生活に活用できる。
- 自分と家族などのかかわりを考えて実践する喜びを味わい、家庭生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。

指導内容

A 家庭生活と家族

- 自分の成長を自覚することを通して、家庭生活と家族の大切さに気付く。
- 家庭には自分や家族の生活を支える仕事があることが分かり、自分の分担する仕事ができる。
- 生活時間の有効な使い方を工夫し、家族に協力する。
- 家族との触れ合いや団らんを楽しくする工夫をする。
- 近隣の人々とかかわりを考え、自分の家庭生活を工夫する。

B 日常の食事と調理の基礎

- 食事の役割を知り、日常の食事の大切さに気付く。
 - 楽しく食事をするための工夫をする。
 - **体に必要な栄養素の種類と働き**について知る。
 - **食品の栄養的な特徴**を知り、食品を組み合わせるとる必要があることが分かる。
 - 1食分の献立を考える。
 - 調理に関心をもち、必要な材料の分量や手順を考えて調理計画を立てる。
 - 材料の洗い方、切り方、味の付け方、盛り付け、配膳及び後片付けが適切にできる。
 - ゆでたり、いためたりして調理ができる。
 - 米飯及びみそ汁の調理ができる。
 - **調理に必要な用具**や食器の安全で衛生的な取扱い及びこんろの安全な取扱いができる。
- 五大栄養素と食品の体内での主な働きを中心に扱う。**
米飯やみそ汁が我が国の伝統的な日常食であることにも触れる。

C 快適な衣服と住まい

- 衣服の働きが分かり，衣服に関心をもって日常着の快適な着方を工夫できる。
- 日常着の手入れが必要であることが分かり，ボタン付けや洗濯ができる。
- 住まい方に関心をもって，整理・整頓や清掃の仕方が分かり工夫できる。
- 季節の変化に合わせた生活の大切さが分かり，快適な住まい方を工夫できる。
- 布を用いて製作する物を考え，形などを工夫し，製作計画を立てる。
- 手縫いや，ミシンを用いた直線縫いにより目的に応じた縫い方を考えて製作し，活用できる。
- **製作に必要な用具**の安全な取扱いができる。

D 身近な消費生活と環境

- 物や金銭の大切さに気付き，計画的な使い方を考える。
- 身近な物の選び方，買い方を考え，適切に購入できる。
- 自分の生活と身近な環境とのかかわりに気付き，物の使い方などを工夫できる。

小学校 外国語活動

目 標（身に付けること）

外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。

指導内容

- 外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること。
- 積極的に外国語を聞いたり、話したりする。
- 言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知ること。
- 外国語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに、日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気付く。
- 日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知り、多様なものの見方や考え方があることに気付く。
- 異なる文化をもつ人々との交流等を体験し、文化等に対する理解を深める。

身近なコミュニケーションの場面を設定する。

音声面を中心とし、アルファベットなどの文字や単語の取扱いについては、音声によるコミュニケーションを補助するものとして用いる。

言葉によらないコミュニケーションの手段もコミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、ジェスチャーなどを取り上げ、その役割を理解させる。

外国語活動を通して、外国語や外国の文化のみならず、国語や我が国の文化についても併せて理解を深めることができるようにすること。

外国語でのコミュニケーションを体験させるに当たり、主として次に示すようなコミュニケーションの場面やコミュニケーションの働きを取り上げる。

〔コミュニケーションの場面の例〕

- 特有の表現がよく使われる場面
- あいさつ
- 自己紹介
- 買物
- 食事
- 道案内 など
- 児童の身近な暮らしにかかわる場面
- 家庭での生活
- 学校での学習や活動
- 地域の行事
- 子どもの遊び など

〔コミュニケーションの働きの例〕

- 相手との関係を円滑にする
 - 気持ちを伝える
 - 事実を伝える
 - 考えや意図を伝える
 - 相手の行動を促す
- 児童の学習段階を考慮して各学年の指導に当たっては、次のような点に配慮する。

小学校 5年生における活動

外国語を初めて学習することに配慮し、児童に身近で基本的な表現を使いながら、外国語に慣れ親しむ活動や児童の日常生活や学校生活にかかわる活動を中心に、友達とのかかわりを大切にした体験的なコミュニケーション活動を行う。

小学校 6年生における活動

小学校 5年生の学習を基礎として、友達とのかかわりを大切にしながら、児童の日常生活や学校生活に加え、国際理解にかかわる交流等を含んだ体験的なコミュニケーション活動を行う。